2-594-457-01(3)

SONY



DAV-X1

DVD ホームシアターシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

S-FORCE PRO FRONT SURROUND　S-master Digital Amplifier　HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	お問い合わせはお客様ご相談センターへ　●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます） ●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311　●Fax：0466-31-2595　受付時間：月〜金 9:00〜20:00、土・日・祝日 9:00〜17:00

Sony Corporation　Printed in Malaysia

http://www.sony.jp/support/h-audio/ index.html

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

5 ～ 7 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
8 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や 1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



→

❶ **電源を切る**

❷ **電源プラグをコンセントから抜く**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　指のケガに注意

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止



接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示　プラグをコンセントから抜く

目次

その他の機能

詳細な設定と調整

その他

⚠警告

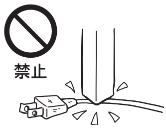


下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

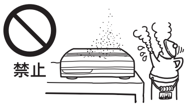
- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

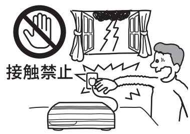
火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



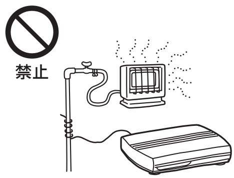
本機を日本国外で使わない

交流 100V の電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。



ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。



⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



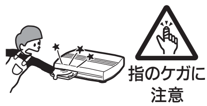
風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない



布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



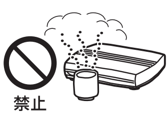
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。



ディスクトレイの前に物を置かない

ディスクを取り出す際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。



電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。



コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

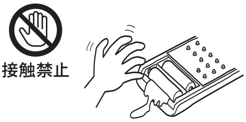
液漏れ・破裂・発熱による**大けがや失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることもあります。



必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

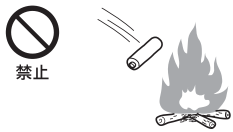
➡ 電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。



➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

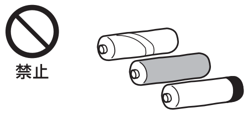
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



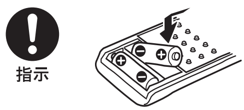
指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



＋とーの向きを正しく入れる

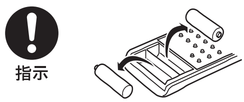
＋とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）
- 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近く。

設置時のご注意

- 本機は、ハイパワーアンプを搭載しています。そのため、本体後面の通気孔をふさぐと、機械内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。本体後面の通気孔を絶対にふさがないでください。
- 本機の上に重いものを置かないでください。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま、本体を動かさないでください。
ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスク、ディスククリーナーについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー（湿式またはスプレー式）は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意
DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

テレビ画面に色むらが起きたら

本機のスピーカーによりテレビ画面に色むらが起きた場合は、テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残るときは、スピーカーをさらにテレビから離してください。

輸送時のご注意

セットを輸送する場合は、メカニズムを保護するために次のとおり操作してください。

1 本体からディスクを取り出す。

2 ファンクションボタンを押して表示窓に「DVD」を表示させる。

3 ■、I/⏻ ボタンを同時に押す。

表示窓に「STANDBY」のあと、「MECHA LOCK」と表示されます。

上記の操作のあと電源コードを抜き、セットを輸送してください。
次回電源コードを差したときに、メカニズムを保護している状態は解除され、通常の状態に戻ります。但し、電源コードを長時間抜いた場合は、設定がクリアされることがあります。

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- この取扱説明書で“DVD”とは、“DVDビデオ”、“DVD+RW/DVD+R”、“DVD-RW/DVD-R”の一般的な総称として使っています。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-V	DVDビデオ/DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）/DVD+R/DVD+RWで使える機能
DVD-RW	DVD-RW（VRモード）で使える機能
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能（スーパー VCD、ビデオCDまたはスーパーVCDフォーマットのCD-R/CD-RWを含む）
Super Audio CD	スーパーオーディオCDで使える機能
CD	CDで使える機能（音楽用CD、または音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RWを含む）
DATA-CD	データCD（MP3*音声トラック、またはJPEG画像ファイルを含むCD-ROM/CD-R/CD-RW）で使える機能

* MPEG 1 Audio Layer3 : MPEGと国際標準化機構（ISO）/国際電気標準会議（IEC）によって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
DVDビデオ	DVD VIDEO
DVD-RW*1	DVD RW
DVD-R	DVD R R4.7
DVD+RW	RW DVD+ReWritable
DVD+R	RW DVD+R
DVD+R DL	RW DVD+R DL
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
スーパーオーディオCD*2	SUPER AUDIO CD
音楽用CD*3	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
CD-R/CD-RW（音楽データ）（MP3音声トラック）（JPEG画像ファイル）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable

次のページへつづく

“DVD VIDEO”、“DVD-RW”、“DVD-R”、“DVD+RW”、“DVD+R”、“DVD+R DL”ロゴは商標です。

*1 CPRM 対応の DVD-RW ディスクに録画した「1 回だけ録画可能」な番組も再生できます。CPRM(Content Protection for Recordable Media) とは、「1 回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。
*2 マルチチャンネル部分は再生できません。
*3 CD テキストデータはディスクタイトルのみ表示できます。

ディスクについてのご注意

本機では以下のフォーマットで記録されたCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生することができます。

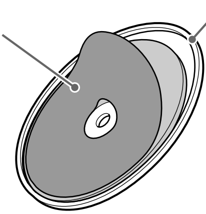
ー 音楽用CDフォーマット
ー ビデオCDフォーマット
ー ISO 9660*1 レベル 1/ レベル 2、またはそれらの拡張フォーマット / Joliet/ マルチセッション*2 準拠の MP3 音声トラック、JPEG 画像ファイル

*1 ISO9660 フォーマット
国際標準化機構（ISO）が制定した CD-ROM の論理フォーマット。
レベル 1 からレベル 3 まで、3 段階の交換レベルを設けています。レベル 1 は、最も制限の厳しいレベルで、ファイル名は 8.3 形式（ファイル名は最大 8 文字、拡張子は最大 3 文字まで）という制約があります。レベル 2 はファイル名の長さの制約が 31 文字にまで緩和され、レベル 3 ではマルチエクステントが許容されています。
*2 マルチセッション
CD に複数のセッションで記録すること。
従来の CD が「リードイン〜データ〜リードアウト」で構成されるセッションを 1 つしか持たないのに対し、マルチセッション CD は、複数のセッションを持っています。
CD-Extra：第 1 セッションに音声データを、第 2 セッションにコンピュータ用のデータを収録します。

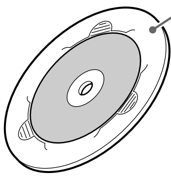
再生できないディスク、ファイルについて

本機では次のディスク、ファイルなどを再生することはできません。

- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- スーパーオーディオCDのEXTRAデータ部分およびマルチチャンネル部分
- DVD-ROM
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ（12、108ページ）
- MP3PROで記録されたMP3音声トラック
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星形など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク



- 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク



CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集したCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD+R DLディスクを再生できます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- 終了情報を記録するファイナライズ作業を行っていないディスクは再生できません。

- パケットライト方式で作成されたディスクは再生できません。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDisc（デュアルディスク）についてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

PBC（プレイバックコントロール）について（ビデオCD）

本機は、PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）にも対応しています。（PBCとは、Playback Controlの略です。）
ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。
PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）	上記（PBC対応でない場合）の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（PBC再生、82 ページ）。また、高精細の静止画も再生できます。

マルチセッションCDについて

MP3音声トラックまたはJPEG画像ファイルがディスクの最初のセッションに記録されているときは、そのほかのセッションのMP3音声トラックおよびJPEG画像ファイルも再生します。
最初のセッションにCD、ビデオCDフォーマットで記録された音声または画像があるときは、最初のセッションだけを再生します。

スーパーオーディオCDについて

スーパーオーディオCDとは、現行のCDなどに用いられているPCM方式とは異なるDSD（ダイレクトストリームデジタル）方式で記録された、新しい高音質オーディオディスクの規格です。DSD方式は、CDの64倍にあたるサンプリング周波数で、1ビットの量子化の採用により、現行のCDをはるかに超える広い再生帯域と可聴帯域における十分なダイナミックレンジを確保し、原音をより忠実に再現します。

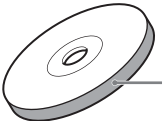
スーパーオーディオCDの種類

スーパーオーディオCDレイヤーとCDレイヤーの組み合わせにより、2種類あります。

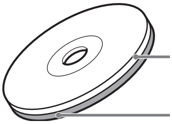
・スーパーオーディオ CD レイヤー：HD（ハイデンシティ）レイヤー（スーパーオーディオ CD 用の高密度信号層）。
・CD レイヤー *1：通常の CD プレイヤーでも再生できます。

次のページへつづく

シングルレイヤーディスク
（スーパーオーディオ CD レイヤーのみのディスク）



ハイブリッドディスク*2
（スーパーオーディオ CD レイヤーと CD レイヤーとが 2 層になったディスク）



*1 CD レイヤーの内容は、通常の CD プレイヤーでも再生できます。
*2 二層構成ですが片面読み出しのため、ディスクを裏返す必要はありません。
*3 レイヤーの選択は「スーパーオーディオ CD の再生レイヤーを選ぶ」（74 ページ）をご覧ください。.

DVDの地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

本機はドルビー*1デジタルデコーダーおよびドルビープロロジック（II）アダプティブマトリックスサラウンドデコーダー、MPEG-2 AAC（LC）デコーダー、DTS*2デコーダーを搭載しています。

本機は5.1チャンネルを完全にデコードしますが、市販のサラウンドスピーカーをつないで使うことはできません。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic、“AAC”ロゴ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
以下が米国AACパテントナンバーです。

*1 Pat. 5,848,391; 5,291,557; 5,451,954; 5,400 433; 5,222,189; 5,357,594; 5,752,225; 5,394,473; 5,583,962; 5,274,740; 5,633,981; 5,297,236; 4,914,701; 5,235,671; 07/640,550; 5,579,430; 08/678,666; 98/03037; 97/02875; 97/02874; 98/03036; 5,227,788; 5,285,498; 5,481,614; 5,592,584; 5,781,888; 08/039,478; 08/211,547; 5,703,999; 08/557,046; 08/894,844
*2 Digital Theater Systems, Inc からの実施権に基づき製造されています。DTS および DTS Digital Surround は Digital Theater Systems, Inc の商標です。

本製品の日本語表示には、株式会社リコー所有の文字フォントを使用しています。

付属品を確認する

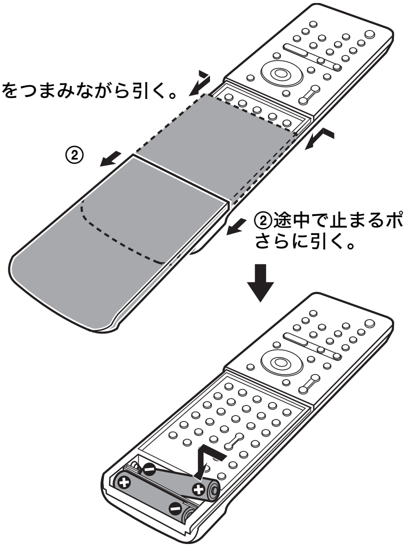
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- フロントスピーカー（2）
- サブウーファー（1）
- AMループアンテナ（1）
- FMワイヤーアンテナ（1）
- スピーカーコード（1）
- 映像コード（1）
- リモコン（1）
- 単4形乾電池（R03）（2）
- 取扱説明書 （1）
- セットアップディスク（1）
- かんたん接続・設置ガイド(カード)
- スピーカーパッド（8）
- ソニーご相談窓口のご案内 （1）
- 保証書 （1）

付属品がそろっていないときは、お手数ですがお買い上げ店にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

付属のリモコンで本機を操作できます。⊕と⊖の向きを合わせて、単4形乾電池（R03、付属）2個を入れてください。
本機を操作するときは、本体のリモコン受光部（113ページ）にリモコンを向けて操作してください。



ご注意

- 高温、多湿の場所を避けて保管してください。
- 乾電池を交換するときは、異物が入らないようにご注意ください。
- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。
  次のことを必ず守ってください。
  - 新しい乾電池と使用途中の乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

接続の流れ

手順１～６の接続と設定をしてください。

手順１：スピーカーをつなぐ（16ページ）

手順２：アンテナをつなぐ（20ページ）

手順３：テレビをつなぐ（映像）（23ページ）

手順４：電源コードをつなぐ（25ページ）

手順５：つないだテレビに合わせて設定をする（クイック設定）（26ページ）

手順６：スピーカーを設置する（28ページ）

テレビなどその他の機器の音声を本機で楽しむ場合、下記のページも参照してください。

- テレビをつなぐ（テレビの音を本機のスピーカーで聞くための接続）（32ページ）。
- その他の機器をつなぐ（34ページ）。

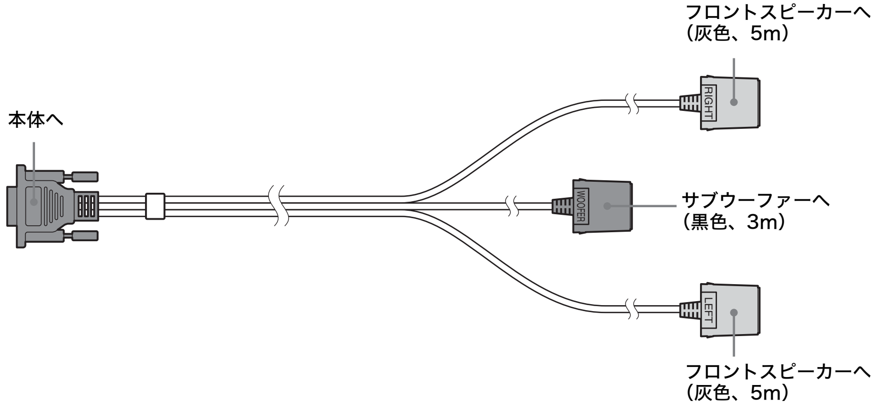
手順1：スピーカーをつなぐ

スピーカーを、付属のスピーカーコードでつなぎます。付属のスピーカー以外のスピーカーは、接続しないでください。

必要な接続コード

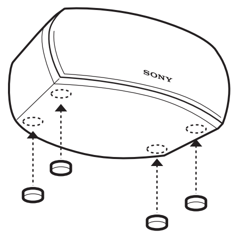
スピーカーコード

本体とスピーカーを付属のスピーカーコード 1 本でつなぐことができます。



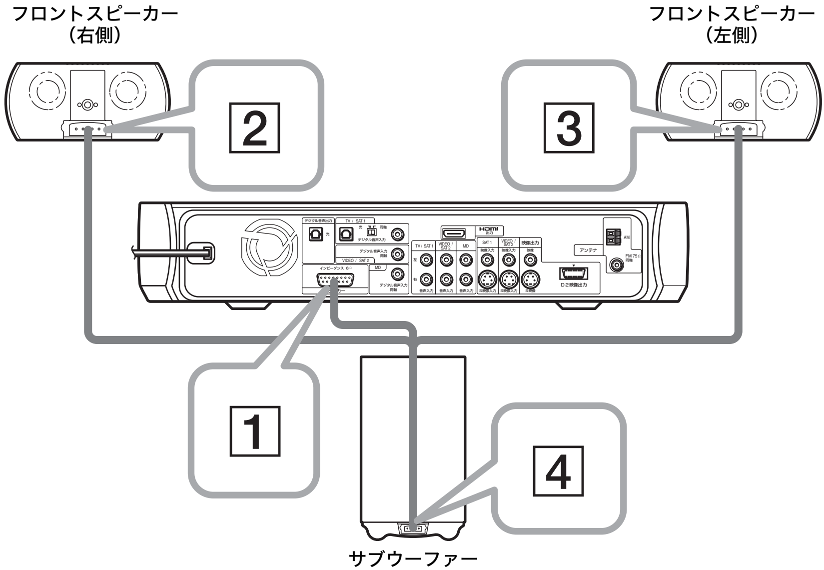
スピーカーパッドを貼る

スピーカーが振動で動かないように、フロントスピーカーの底面の四隅に付属のスピーカーパッドを貼ってください。



スピーカーをつなぐ端子

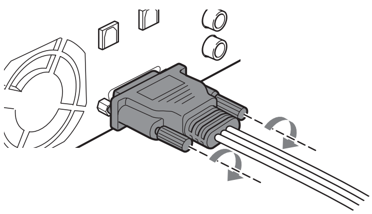
本機後面



上記のイラストのように、スピーカーコードを[1]～[4] の順につないでください。

[1] スピーカーコードを本体につなぐ。

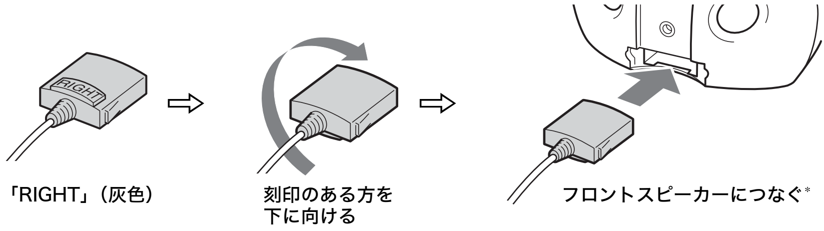
2箇所のネジを締めて固定してください。



次のページへつづく

2 **スピーカーコードの「RIGHT」の刻印がある端子をフロントスピーカーにつなぎ、正面から見て右側に置く。**

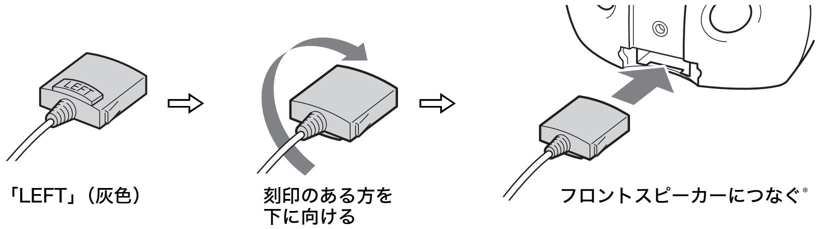
フロントスピーカーは左右の区別がなく、どちらも左右のフロントスピーカーとして使えます。「RIGHT」の刻印がある端子をつないだスピーカーが右側に置くスピーカーとなります。



* コードは奥までしっかり差し込んでください。

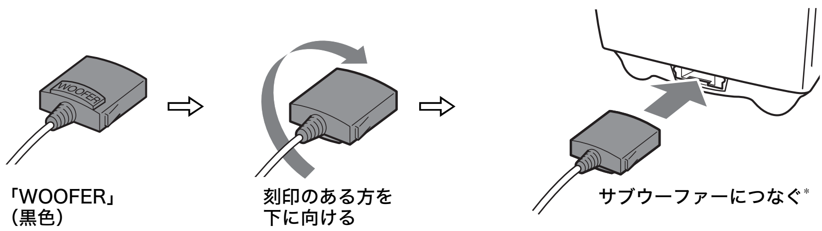
3 **スピーカーコードの「LEFT」の刻印がある端子をフロントスピーカーにつなぎ、正面から見て左側に置く。**

「LEFT」の刻印がある端子をつないだスピーカーが左側に置くスピーカーとなります。



* コードは奥までしっかり差し込んでください。

4 **スピーカーコードの「WOOFER」の刻印がある端子をサブウーファーにつなぐ。**



* コードは奥までしっかり差し込んでください。

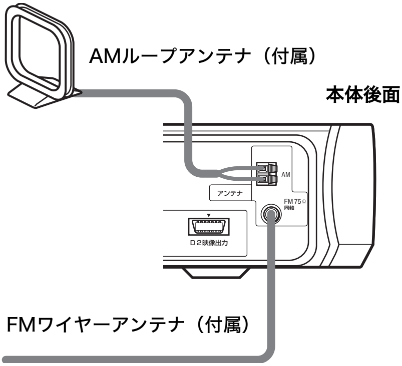
スピーカー設置上のご注意

- 以下のような場所には置かないでください。
  - 傾いた所。
  - 極端に温度が高い所または低い所。
  - ほこりの多い所。
  - 湿気の多い所。
  - ぐらついた台の上など。
  - 直射日光が当たる所。
- お手入れのときは、眼鏡拭きのクロスのような柔らかい布を使ってください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に、サブウーファーおよび、フロントスピーカーを置くときは、床に変色、染みなどが残ることがあります。
- スピーカーコードの「WOOFER」の刻印がある端子をフロントスピーカーにつないだり、「RIGHT」、「LEFT」の刻印がある端子をサブウーファーにつないだりしないでください。
- スピーカーは下の図のように、ロゴを下にして置いてください。

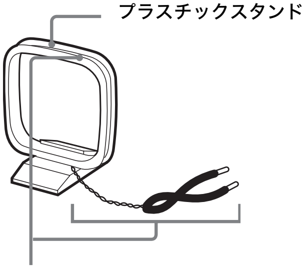


手順2：アンテナをつなぐ

ラジオを聞くために、付属のAM/FMアンテナをつなぎます。



AMアンテナをつなぐ

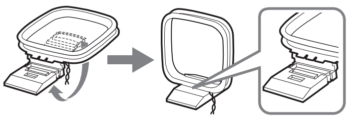


アンテナはAMの電波を受信しやすい形状、長さになっています。はずしたり、丸めたりしないでください。

1 ループ（～～～）になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。

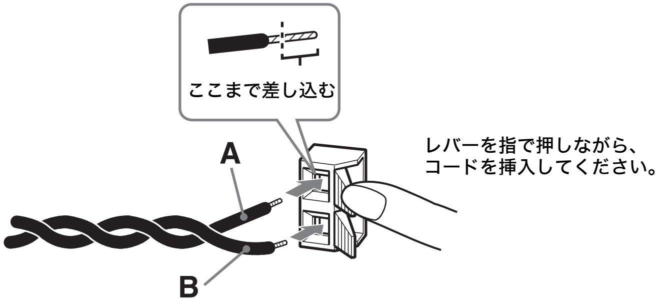
2 スタンド状に組み立てる。

台を起こし、溝にはめます。



3 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。

付属のＡＭループアンテナは、コード（A）（B）をどちらの端子にもつなぐことができます。



ご注意

- 雑音の原因になるため、AMループアンテナは本機や他のAV機器の近くに置かないでください。

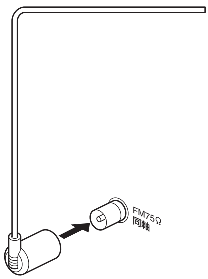
ちょっと一言

- AM放送の受信状態が良くないときは、付属のAMループアンテナの向きを受信状態の良い方向へ変えてください。

4 アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認する。

FMアンテナをつなぐ

FMアンテナ端子につなぐ。



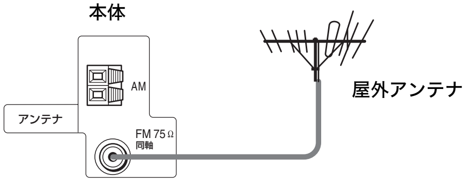
ご注意

- FMワイヤーアンテナをつないだ後は、受信状態の良い向きを探してください。
- FMワイヤーアンテナを壁にはるときは、受信状態の良い壁面を探してください。
- FMワイヤーアンテナは束ねたまま使用しないでください。

次のページへつづく

ちょっと一言

- FM放送の受信状態が良くないときは、次のように、市販の75Ω同軸ケーブルを使って、本体と屋外アンテナをつなぎます。

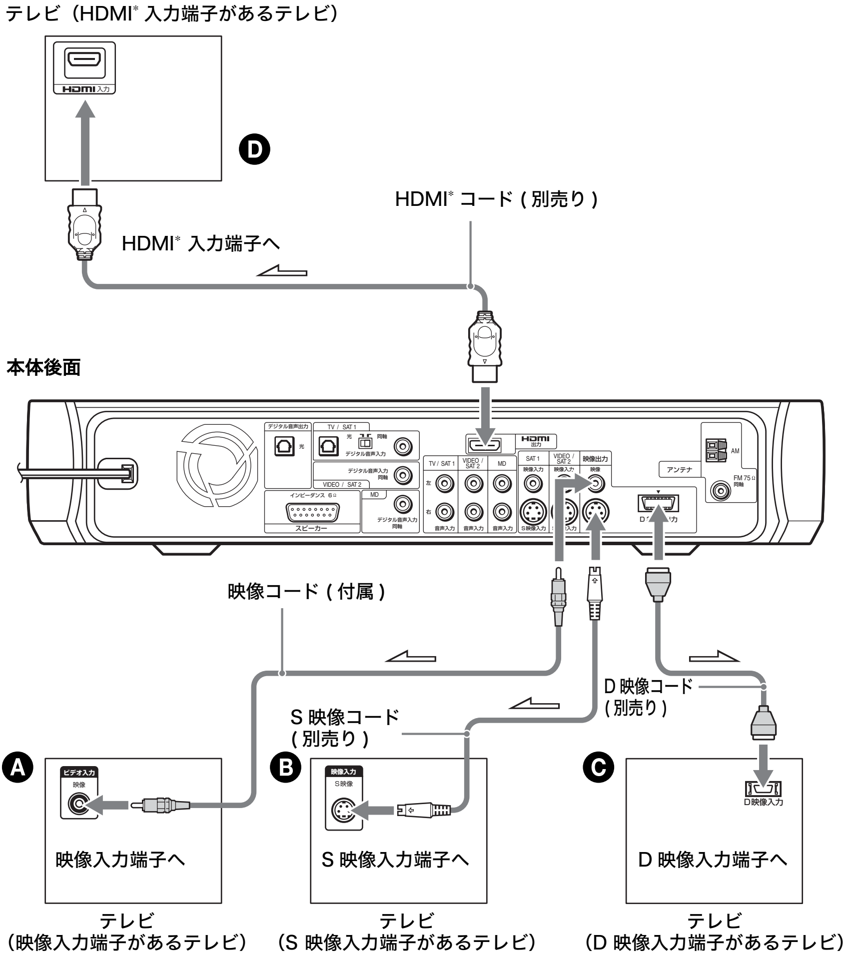


手順3：テレビをつなぐ（映像）

本機で再生する映像や画像をテレビに映すために、本機とテレビをつなぎます。テレビの音を本機のスピーカーで聞くには「テレビをつなぐ（テレビの音を本機のスピーカーで聞くための接続）」（32ページ）をご覧ください。

映像コードをつなぐ

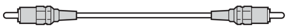
再生するDVDの映像をテレビに送ります。
お持ちのテレビの端子にあわせて、下のⒶ～Ⓓの4つの方法から選ぶことができます。
Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓとなるにつれて高画質になります。



＊ HDMI (High-Definition Multimedia Interface)
本機は、HDMI規格のバージョン1.1仕様に準拠しています。
本機は、High-Definition Multimedia Interface(HDMI TM)技術を取り入れています。HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LCCの商標または登録商標です。

Ⓐ 映像入力端子のあるテレビにつなぐ

映像コード(付属)を使って、テレビの映像入力端子と本機の映像出力端子をつなぎます。


黄（映像）

Ⓑ S 映像入力端子のあるテレビにつなぐ

S映像コード（別売り）を使って、テレビのS映像入力端子と本機のS映像出力端子をつなぎます。



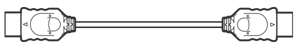
Ⓒ D 映像入力端子のあるテレビにつなぐ

D映像コード（別売り）を使って、テレビのD映像入力端子と、本機のD2映像出力端子をつなぎます。プログレッシブ方式に対応したテレビとつないだときは、本機をプログレッシブ出力に設定して高画質な映像を楽しむことができます（93ページ）。



Ⓓ HDMI/DVI 入力端子のあるテレビにつなぐ

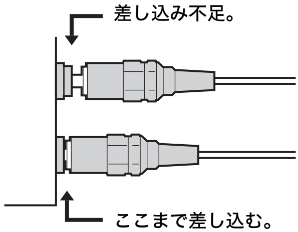
HDMIコード(別売り)を使って、テレビのHDMI入力端子と、本機のHDMI出力端子をつなぎます。デジタル信号により高精細映像と音声が楽しむことができます。
テレビにDVI入力端子がある場合、HDMI/DVIコンバーターケーブル（別売り）を使ってテレビとつなぐことはできますが、その場合テレビは音声信号を受け取れません。
また、HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)に準拠していないDVI対応機器にはつなぐことができません。



ご注意

- コードをつなぐとき、プラグは根元までしっかり差し込んでください。

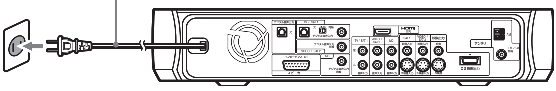
映像コードの例

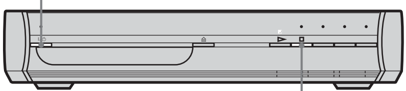


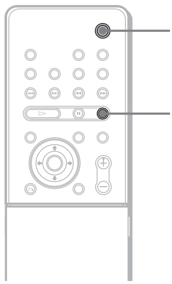
手順4：電源コードをつなぐ

スピーカーやテレビをつないでから、本体の電源コードを壁のコンセントにつないでください。

電源コードを壁のコンセントにつなぐ







本体の電源を入れるときは

I/⏻ 電源ボタンを押してください。

本体の電源を切るときは

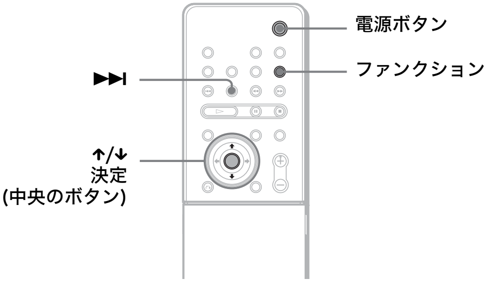
I/⏻ 電源ボタンを押してください。本機はスタンバイモードに入ります。
ディスクの再生中に、I/⏻ 電源ボタンを押して電源を切らないようにしてください。設定がリセットされる場合があります。もし電源を切りたいときは、まず ■ ボタンを押して再生を止め、次に I/⏻ 電源ボタンを押してください。

ご注意

- 本機がDVDなどを再生しているときは、電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。

手順5：つないだテレビに合わせて設定をする（クイック設定）

「手順3：テレビをつなぐ（映像）」（23ページ）で本機につないだテレビに合わせた画面の縦横比の設定を行います。



設定の項目をとばすときは▶▶Iボタンを押します。

1 電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

本体の表示窓に「DVD」が表示されます。「DVD」が表示されないときは、ファンクションボタンを繰り返し押して「DVD」を表示させます。

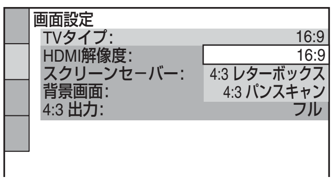
2 テレビの電源を入れる。

3 本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。

画面の下部に[クイック設定するには[決定]を押してください]のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されないときは、クイック設定画面を表示させて行ってください（27ページ）。

4 ディスクを入れない状態で決定ボタンを押す。

つないだテレビの縦横比の設定画面がテレビに表示されます。



5　↑/↓ を使って本機に接続したテレビ画面の縦横比を選ぶ。

■ ワイドスクリーンタイプのテレビ、またはワイドスクリーンモードのある4:3スクリーンタイプのテレビをお使いのときは

[16:9]を選びます（96ページ）。

■ 4:3スクリーンタイプのテレビをお使いのときは

[4:3レターボックス]または[4:3パンスキャン]を選びます（96ページ）。

6　決定ボタンを押す。

クイック設定が完了します。

クイック設定をやめるには

画面表示ボタンを押します。

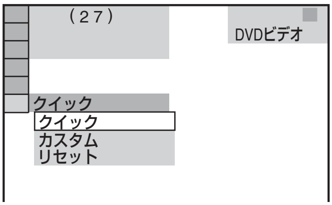
クイック設定の画面を呼び出すには

1　ディスクを再生しているときは、■ボタンを押して再生を止めてから 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

2　↑/↓ を使って [設定]を選び、決定ボタンを押す。

[設定]の項目が表示されます。

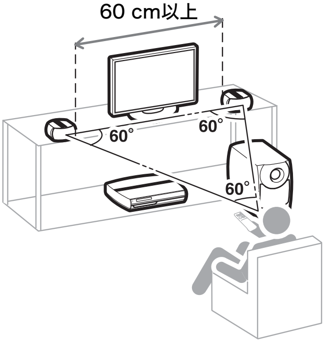


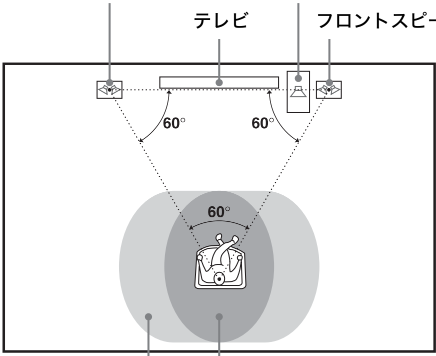
3　↑/↓ を使って[クイック]を選び、決定ボタンを押す。

クイック設定画面が表示されます。

手順6：スピーカーを設置する

フロントサラウンドの効果をお楽しみいただくために、付属のセットアップディスクを使って下図のようにスピーカーを正しく設置してください。





ちょっと一言

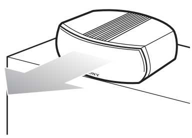
- フロントサラウンドの効果はサウンドフィールド設定（FOCUS SURROUNDまたはWIDE SURROUND）によって異なります。サウンドフィールド設定を変更し、お好みのフロントサラウンドをお楽しみください。詳しくは「サウンドフィールドボタンを使ってフロントサラウンドを楽しむ」（45ページ）をご覧ください。
- フロントサラウンドの効果を確認するときは、サウンドフィールド設定をFOCUS SURROUND（フォーカスサラウンド）に設定し、なるべく１人か２人がFOCUS SURROUND（フォーカスサラウンド）エリアにいる状態で行ってください。

フロントスピーカーの設置のしかた

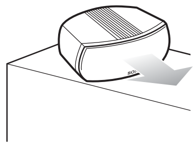
フロントサラウンドを効果的にお楽しみいただくために、以下のように設置してください。

- 左右のフロントスピーカーの距離と視聴位置からの距離を等間隔にする（上の図のような正三角形となるように配置する）。
- 左右のフロントスピーカーは60 cm以上離して配置する。
- フロントスピーカーは視聴位置にいるときの耳の高さと同じになるように配置する。
- フロントスピーカーはテレビより前に置く。フロントスピーカーの前にはものを置かない。
- フロントスピーカーは壁からできるだけ離す。
- 左右のフロントスピーカーはまっすぐに置く。視聴位置に向けて置かない。

正しい例

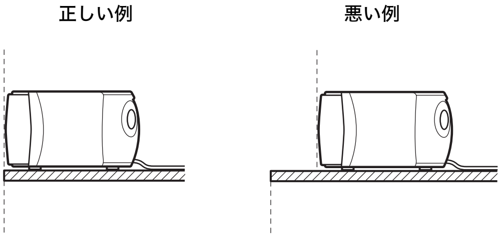


悪い例



- フロントスピーカーをテーブルやラックに置くときは、スピーカーを前方に置く（後方に置くと、音が反射するため、フロントサラウンドの効果が落ちます）。

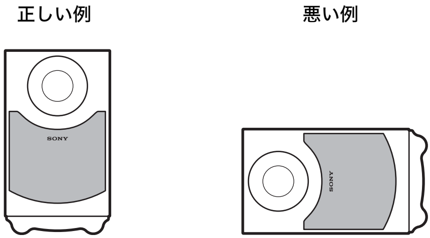
横から見たところ



サブウーファーの設置のしかた

サブウーファーは以下の点に注意して設置してください。

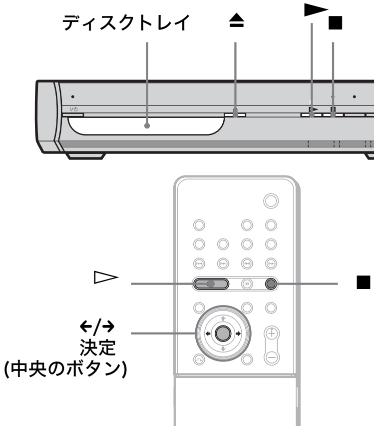
- 反響が発生しないように、できるだけ固い床に置く。
- 壁から数センチ以上離して、横に倒したりせずに置く。



次のページへつづく

フロントサラウンドの効果を確認する

スピーカーを設置したら、付属のセットアップディスクを使ってスピーカーが正しく設置されているか、フロントサラウンドの効果が正しく得られるかを確認します。

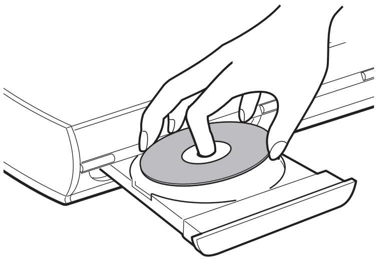


ご注意
- もしスピーカーから音が聞こえないときは、スピーカーの接続や音量を確認してください。

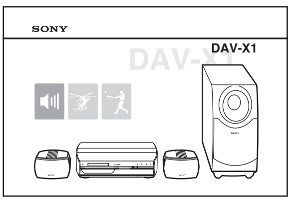
1 本体の≜を押す。

2 セットアップディスクを入れる。

付属のセットアップディスクをディスクトレイに置き、本体の≜を押してください。

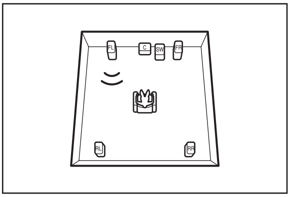


セットアップディスクメニュー画面がテレビに表示されます。



3 視聴位置に座り、←/→を使って画面に表示された３つのアイコンの中からお好みの１つを選び、▷ ボタンまたは決定ボタンを押す。

選んだ項目が始まります。



4 音を聞いて、最適なフロントサラウンドの効果が得られているかを確認します。

もし充分なサラウンド効果が感じられないときは、スピーカーの配置を調整してください。

5 ■ボタンを押してディスクの再生を止める。

6 本体の⏏を押してディスクを取り出す。

スピーカーの音量を調節するには

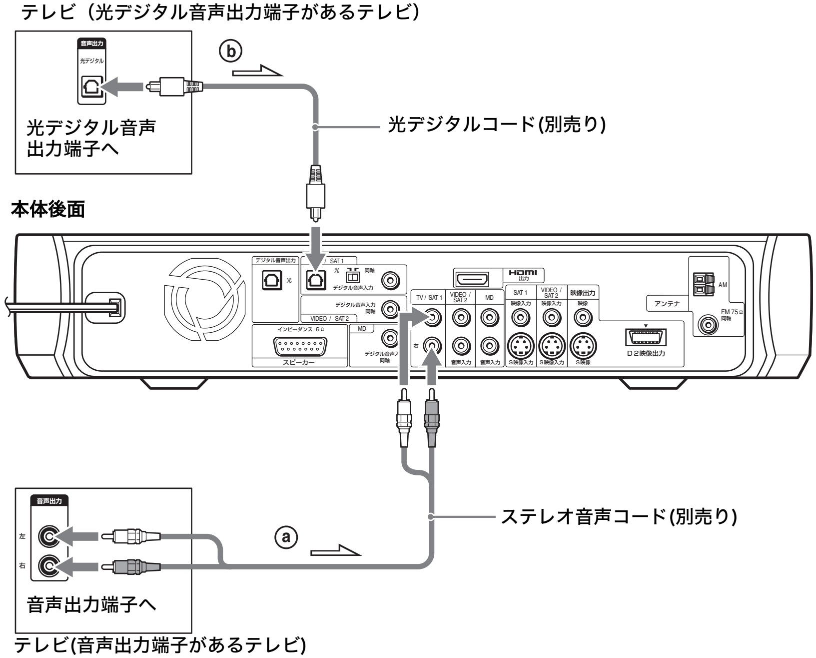
本体のVOLUME+/-か、リモコンの音量+/-ボタンを押します。

テレビをつなぐ(テレビの音を本機のスピーカーで聞くための接続)

音声出力端子のあるテレビとつないで、本機のスピーカーからテレビの音声を出力することができます。

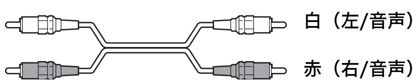
本機のスピーカーからテレビのステレオ音声を出力する場合は、下のⓐまたはⓑの接続を選びます。

ⓐ → ⓑとなるにつれて高音質になります。



ⓐ 音声出力端子のあるテレビにつなぐ

ステレオ音声コード（別売り）を使って、テレビの音声出力端子と、本体のTV/SAT 1（音声入力）端子につなぎます。白（左）端子には白プラグを、赤（右）端子には赤プラグを差し込みます。



ⓑ 光デジタル音声出力端子のあるテレビにつなぐ

光デジタルコード（別売り）を使って、テレビの光デジタル音声出力端子と、本体のTV/SAT 1の光デジタル音声入力端子につなぎます。



本体のTV/SAT 1の光デジタル音声入力端子につないだときは、下記の図のように本体後面の切換スイッチを光側にしてください。



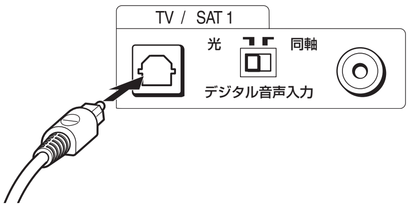
テレビと同軸デジタルコードで、本体の同軸デジタル音声入力端子につないだときは、切換スイッチを同軸側にしてください。

ちょっと一言

- 実際にテレビの音声を聞くには、ファンクションを「TV」に切り換える必要があります。詳しくは48ページをご覧ください。
- AACを楽しむにはⓑの接続を行ってください。
- AACを楽しむには90ページを参照してください。

ご注意

- ⓐとⓑの接続を両方行った場合、ⓑのデジタル接続が優先されます。
- 光デジタルコード(別売り)をつなぐときは、下図のように角が斜めになっている面を上側にして、カチッという音がするまで差し込んでください。

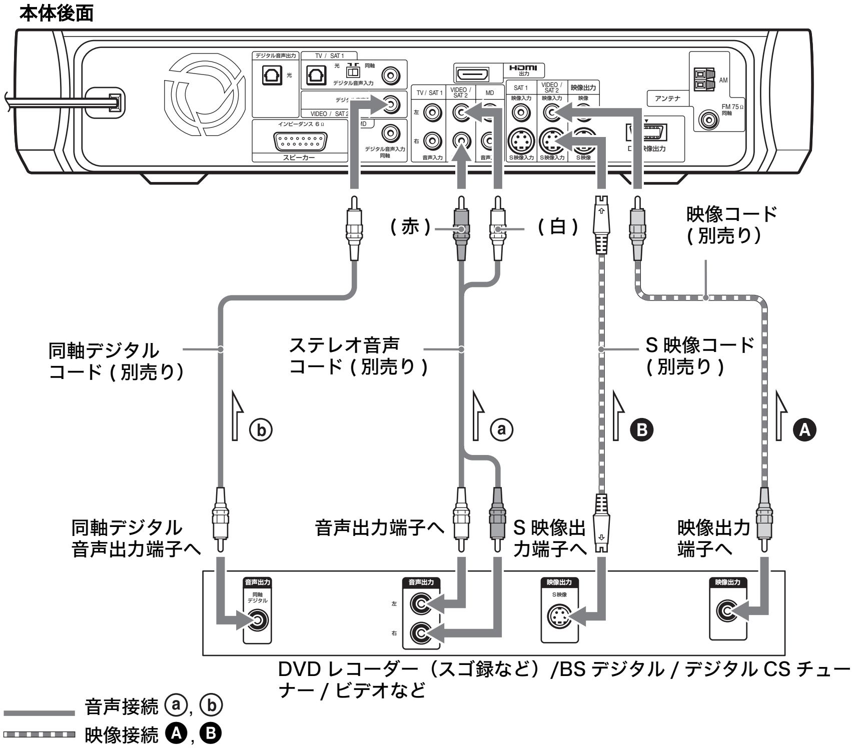


- 光デジタルコードでつなぐとき、お使いのテレビがすべての音声を出力しない場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 光デジタルコードでつなぐとき、つなぐテレビ側で音声出力に関する設定が必要な場合があります。つなぐテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

その他の機器をつなぐ

お使いのさまざまな機器を本機につないで楽しむことができます。雑音を防ぐために、プラグはしっかりと差し込んでください。

A DVDレコーダー（スゴ録など）/BSデジタル/デジタルCSチューナー /ビデオなどをつなぐ

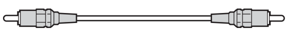


■ 映像接続コードをつなぐ

Ⓐ → Ⓑ となるにつれて高画質となります。

Ⓐ 映像出力端子のある機器につなぐ

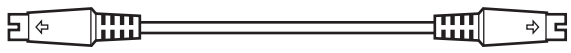
ビデオ機器またはその他の機器を、映像コードを使って本体のVIDEO/SAT 2映像入力端子につなぎます。



黄（映像）

Ⓑ S映像出力端子のある機器につなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、S映像コード（別売り）を使って本体のVIDEO/SAT 2 S映像入力端子につなぎます。



ご注意

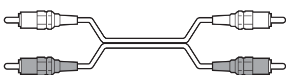
- VIDEO/SAT 2の映像入力端子につないだ場合、信号は映像出力の映像端子からのみ出力されます。同様にVIDEO/SAT 2のS映像入力端子につないだ場合、信号は映像出力のS映像端子からのみ出力されます（HDMI出力端子やD2映像出力端子からは出力されません）。

■ 音声接続コードをつなぐ

ⓐ → ⓑとなるにつれて高音質となります。

ⓐ 音声出力端子のある機器とつなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、ステレオ音声コード（別売り）を使って本体のVIDEO/SAT 2音声入力端子につなぎます。プラグは色分けされているので、同じ色どうしをつなぎます。

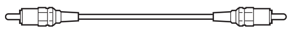


白（左/音声）

赤（右/音声）

ⓑ 同軸デジタル音声出力端子のある機器とつなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、同軸デジタルコード（別売り）を使って本体のVIDEO/SAT 2同軸デジタル音声入力端子につなぎます。



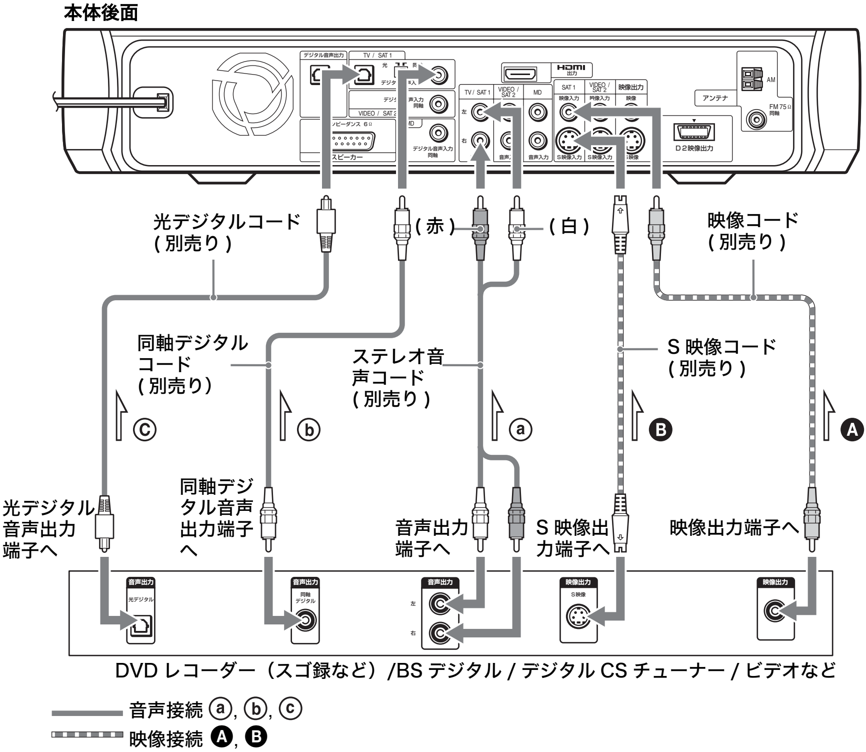
ご注意

- 音声入力 ⓐ と同軸デジタル音声入力 ⓑ を同時につないだ場合、同軸デジタル音声入力 ⓑ の信号が優先されます。
- ⓐ で本体のVIDEO/SAT2の音声入力端子に高出力音声の機器（DVDレコーダー（スゴ録など）/BSデジタル/デジタルCSチューナーなどのデジタル機器）をつないで楽しむ場合、音声がひずむことがあります。歪み防止のためにファンクション設定が必要となります。詳しくは「その他の機器にあわせて設定する」（40ページ）をご覧ください。
- 同軸デジタルコード(別売り)でつなぐ場合、接続する機器側で音声出力に関する設定が必要な場合があります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

次のページへつづく

B DVDレコーダー（スゴ録など）/BSデジタル/デジタルCSチューナー /ビデオなどをもう1台つなぐ

テレビの音声を本機で出力しない（テレビと本機を音声コードでつながない）場合、もう1台別の機器をつなぐことができます。



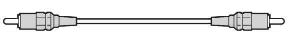
■ 映像接続コードをつなぐ

A → Bとなるにつれて高画質となります。

映像出力端子やＳ映像出力端子のある機器を本体のSAT 1 映像入力端子とつなぐ場合、ファンクション設定が必要です。設定のしかたは「その他の機器にあわせて設定する」（40ページ）をご覧ください。

A 映像出力端子のある機器につなぐ

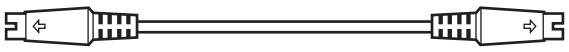
ビデオ機器またはその他の機器を、映像コードを使って本体のSAT 1映像入力端子につなぎます。



黄（映像）

Ⓑ S 映像出力端子のある機器につなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、S 映像コード（別売り）を使って本体の SAT 1 S 映像入力端子につなぎます。



ご注意

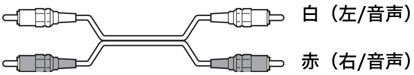
- SAT 1の映像入力端子につないだ場合、信号は映像出力の映像端子からのみ出力されます。同様にSAT 1のS 映像入力端子につないだ場合、信号は映像出力のS映像端子からのみ出力されます（HDMI出力端子やD2映像出力端子からは出力されません）。

■ 音声接続コードをつなぐ

ⓐ → ⓒとなるにつれて高音質となります。

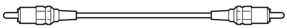
ⓐ 音声出力端子のある機器とつなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、ステレオ音声コード (別売り) を使って本体の TV/SAT 1 音声入力端子につなぎます。プラグは色分けされているので、同じ色どうしをつなぎます。



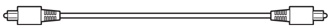
ⓑ 同軸デジタル音声出力端子のある機器とつなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、同軸デジタルコード (別売り) を使って本体の TV/SAT 1 同軸デジタル音声入力端子につなぎます。



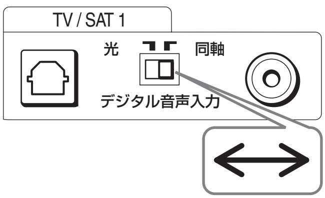
ⓒ 光デジタル音声出力端子のある機器とつなぐ

ビデオ機器またはその他の機器を、光デジタルコード (別売り) を使って本体の TV/SAT 1 光デジタル音声入力端子につなぎます。



ご注意

- 同軸デジタル出力端子のある機器や光デジタル出力端子のある機器と、本体のTV/SAT 1 光/同軸デジタル音声入力端子をつなぐ場合には、下図のように接続にあわせて本体後面のスイッチを切り換えてください。

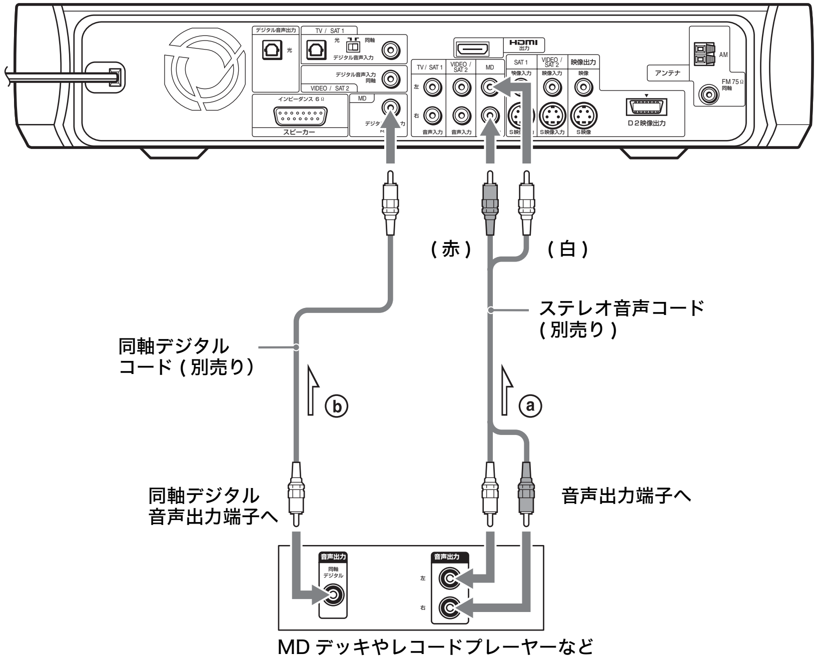


- 音声入力 Ⓐ と同軸デジタル音声入力 Ⓑ または光デジタル音声入力 Ⓒ を同時につなぐ場合、デジタル音声入力（ Ⓑ または Ⓒ ）の信号が優先されます。
- 光デジタルコード（別売り）、同軸デジタルコード（別売り）でつなぐとき、接続する機器側で音声出力に関する設定が必要な場合があります。つなぐ機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

次のページへつづく

C MDデッキやレコードプレーヤーなどをつないで音声を楽しむ

本体後面



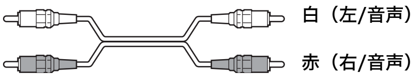
音声接続 ⓐ , ⓑ

■ 音声接続コードをつなぐ

ⓐ → ⓑとなるにつれて高音質となります。

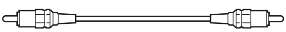
ⓐ 音声出力端子のある機器とつなぐ

MD デッキやレコードプレーヤーなどを、ステレオ音声コード (別売り) を使って本体の MD 音声入力端子につなぎます。プラグは色分けされているので、同じ色どうしをつなぎます。



ⓑ 同軸デジタル音声出力端子のある機器とつなぐ

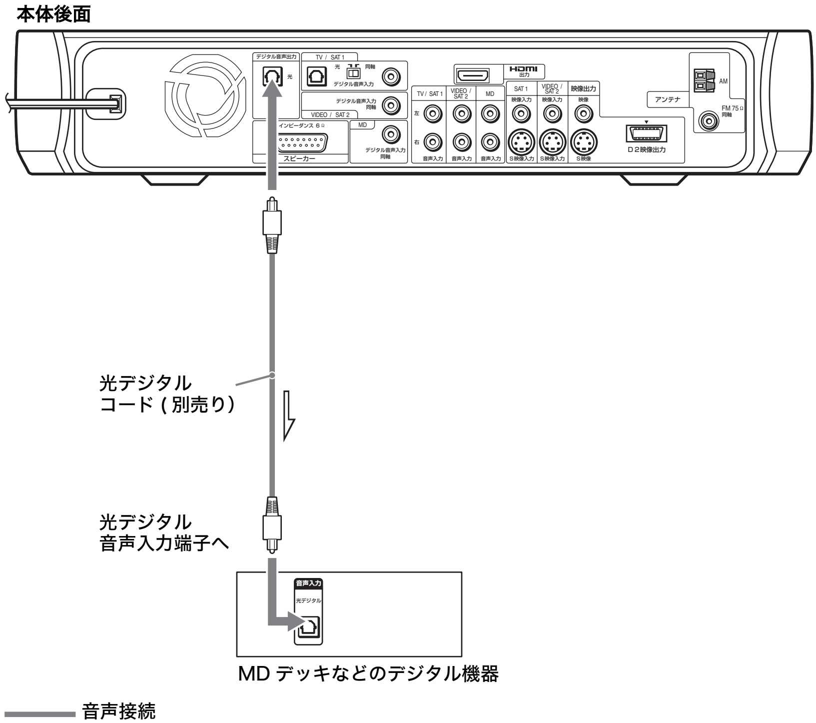
MD デッキやレコードプレーヤーなどを、同軸デジタルコード (別売り) を使って本体の MD 同軸デジタル音声入力端子につなぎます。



ご注意

- 音声入力 ⓐ と同軸デジタル音声入力 ⓑ を同時につないだ場合、同軸デジタル音声入力 ⓑ の信号が優先されます。
- イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー （別売り）をつないでください。イコライザーアンプが内蔵されているか、また、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

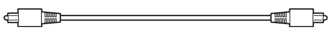
D MDデッキにつないでCDの音声などをMDに録音する



■ 音声接続コードをつなぐ

光デジタル入力端子のある機器とつなぐ

MDデッキなどを、光デジタルコード（別売り）を使って本体の光デジタル音声出力端子につなぎます。

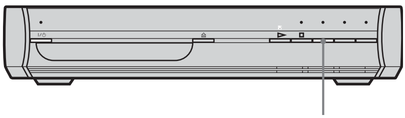


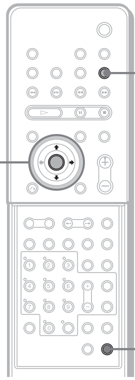
ご注意

- 本機の光デジタル音声出力端子は、DVDファンクション時（本体の表示窓に「DVD」が表示されている状態）にのみ音声信号を出力します。ただし、スーパーオーディオCD、ビデオCDやMP3の音声は出力されません。
- DVDビデオの音声は、MDには録音できません。
- 本機につないだ機器がドルビーデジタル、DTSに対応していない場合、DVD再生中に雑音が生じる場合があります。

その他の機器にあわせて設定する

「その他の機器をつなぐ」でAやBの接続を行った場合、それぞれの接続に見合った設定が必要となります。下記の通りに設定してください。





A の接続を行った場合

Aの接続を行った場合で、音声の接続を ⓐ のステレオ音声コード（別売り）のみでつないだとき、音の歪みを防止するためにファンクションの表示を「VIDEO」から「SAT2」に切り換える必要があります。下記の設定を行ってください。
（ファンクションについては、44ページをご覧ください。ⓑ の同軸デジタルコードでつないだときは、ファンクション名は「VIDEO」のままで構いません）。

1　ファンクションボタンを押して、本体の表示窓にファンクションを表示させる。

「VIDEO」を表示させます。「SAT2」が最初に表示される場合は、以下の操作は必要ありません。

2　アンプメニューボタンを押す。

3　↑/↓ を使って、本体の表示窓に「SET VIDEO」を点滅表示させ、決定ボタンまたは → を押す。

4　↑/↓ を使って、本体の表示窓に「SET SAT2」を表示させる。

5　決定ボタンまたはアンプメニューボタンを押す。

アンプメニュー画面表示が消え、本体の表示窓に「SAT2」のファンクション名が表示されます。

B の接続を行った場合

Bの接続を行った場合で、本機のSAT 1映像入力（映像入力、S映像入力）にⒶの映像コードまたはⒷのS映像コード（別売り）でつないだときは、ファンクションの表示を「TV」から「SAT1」に切り換える必要があります。下記の設定を行ってください。
（SAT 1映像入力（映像入力、S映像入力）に、他の機器を接続しない場合は、ファンクション名は「TV」のままで構いません）。

1 ファンクションボタンを押して、本体の表示窓にファンクションを表示させる。

「TV」を表示させます。「SAT1」が最初に表示される場合は、以下の操作は必要ありません。

2 アンプメニューボタンを押す。

3 ↑/↓ を使って、本体の表示窓に「SET TV」を点滅表示させ、決定ボタンまたは → を押す。

4 ↑/↓ を使って、本体の表示窓に「SET SAT1」を表示させる。

5 決定ボタンまたはアンプメニューボタンを押す。

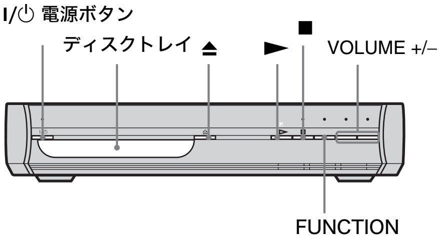
アンプメニュー画面表示が消え、本体の表示窓に「SAT1」のファンクション名が表示されます。

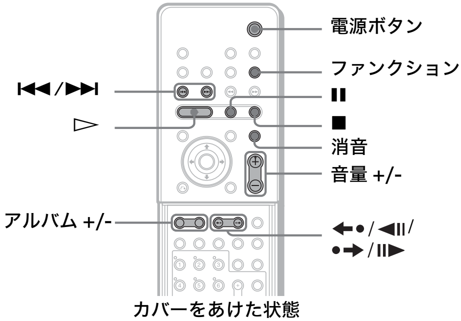
ちょっと一言

- 「TV」、「VIDEO」ファンクションに戻すには、以上の操作をもう一度行ってください。

ディスクを再生する

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　Super Audio CD　CD　DATA-CD





ご注意

- ディスクトレイを手で閉めないでください。故障の原因になります。
- 2枚以上のディスクを入れないでください。

再生するDVDビデオ、ビデオCDの種類によっては、操作が違ったり、禁止されている操作があります。
再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

1 本体のI/⏻ 電源ボタンを押す。

本機の電源が入ります。
ファンクションが「DVD」ではないときは、本体の表示窓に「DVD」と表示されるまでファンクションボタンを繰り返し押してください。

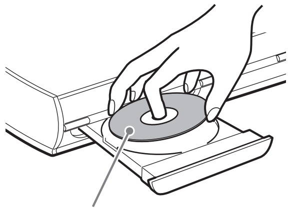
2 テレビの電源を入れる。

3 本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。

4 本体の ⏏ を押す。

5 ディスクを入れる。

ディスクをディスクトレイに置き、本体の⏏を押してください。



８ｃmディスクをお使いのときは、ディスクトレイの内側の溝にあわせて置いてください。

6 ▷ を押す。

再生が始まります。音量を調節してください。

いろいろな操作方法

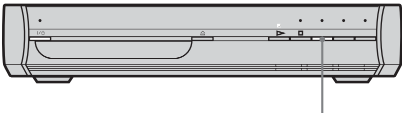
こんなときは	操作
止める	■ を押す
途中で止める	❚❚ を押す
途中で止めたあと、つづきを再生する	❚❚ または ▷ を押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	▶▶❚を押す（JPEG画像ファイルは除く）
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	❚◀◀ を押す（JPEG画像ファイルは除く）
消音する	消音ボタンを押す。消音をキャンセルするには、もう一度消音ボタンを押すか、音量+ボタンで音量を上げる
ディスクを取り出す	本体の ⏏ を押す
少し前のシーンに戻す*1	再生中に←●/◀❚❚ （フラッシュ）を押す
少し先のシーンに進める*2	再生中に●→/❚❚▶ （フラッシュ）を押す
前後のアルバムに移動する*3	再生中にアルバム+/-を押す

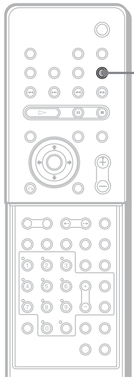
*1 DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R のみ。
*2 DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW のみ。
*3 データ CD のみ。

ちょっと一言

- データCDに記録されたMP3音声トラックやJPEG画像ファイルの再生に関しては、「データCDに記録されたMP3音声トラックとJPEG画像ファイルを再生する」（76ページ）をご覧ください。

ラジオやつないだ機器の音を聞く





1　ファンクションボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に再生したいものを表示させる。

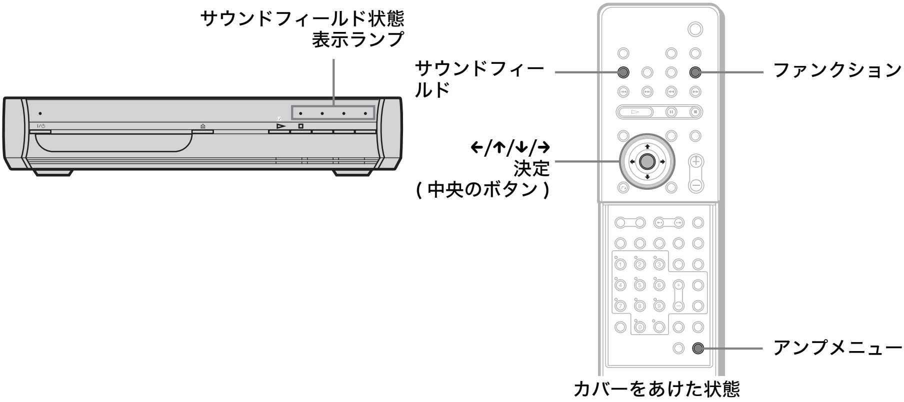
ファンクションボタンを押すたびに、ファンクションは以下の順番で切り替わります。
DVD → FM → AM → TV (SAT1) → VIDEO (SAT2) → MD → DVD → ....

選ぶファンクション	再生したい機器
FMまたはAM	本体に内蔵されているラジオ（20、83ページ）
TVまたはSAT1	テレビ（32ページ）、DVDレコーダー (スゴ録など)、BSデジタル/デジタルCSチューナー /ビデオなど（34ページ）
VIDEOまたはSAT2	DVDレコーダー（スゴ録など）、BSデジタル/デジタルCSチューナー /ビデオなど（34ページ）
MD	MDデッキやレコードプレーヤー（38ページ）

2　つないだ機器の電源を入れて、再生する。

本機のサラウンドを楽しむ

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　CD　DATA-CD



本機は 2 つのフロントスピーカーとサブウーファーで 5.1 チャンネルサラウンドサウンドを作り出します。本機のサウンドフィールドを選ぶことで、フロントサラウンドの効果を楽しめます。

サウンドフィールドボタンを使って、フロントサラウンドを楽しむ

サウンドフィールドボタンを押す

現在選択されているサウンドフィールドが本体の表示窓に表示されます。
サウンドフィールドボタンを繰り返し押して、お好みのサウンドフィールドに切り換えます。選ばれたサウンドフィールドの状態表示ランプが本体前面で点灯します*。
サウンドフィールドは←/↑/↓/→を使って選ぶこともできます。
サウンドフィールドボタンを押すたびに、表示は以下のように切り換わります（1 回押すと、現在のサウンドフィールドが本体の表示窓に表示されます)。

→ AUTO MODE
↓
FOCUS SURR
↓
WIDE SURR
↓
2CH STEREO

* サウンドフィールドボタンを押して、AUTOを選んでいるときは、AUTOと自動選択されたサウンドフィールド（FOCUS SURROUND、WIDE SURROUNDまたは 2 CH STEREO）のランプが点灯します。

次のページへつづく

ご注意
- CDまたはデータCDを再生しているとき、AUTOの場合は2CH STEREOになります。
- スーパーオーディオCDのサウンドフィールドは２CH STEREOのみとなります。
- DVDマルチチャンネル信号以外のディスクの信号によっては、サラウンドの効果を感じにくい場合があります。

ちょっと一言
- 本機はファンクションごとに最後に設定したサウンドフィールドを記憶します。ただし、FMとAMは個別にサウンドフィールドは記憶できません。ラジオとしてサウンドフィールドを記憶します。
（電源コードを長時間抜いたままにしていると、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。）

サウンドフィールドの種類

サウンドフィールド	本体の表示
AUTO（オート）	AUTO MODE
FOCUS SURROUND（フォーカスサラウンド）	FOCUS SURR*
WIDE SURROUND（ワイドサラウンド）	WIDE SURR*
2CH STEREO（2チャンネルステレオ）	2CH STEREO

* S-Force PRO Front Surround技術を使っています。

S-Force PRO Front Surroundとは

ソニーがこれまで蓄積してきた膨大な音響データを解析し、独自のDSP技術を加えて開発したフロントサラウンドの技術です。音像の距離感、空間性をより忠実に再現することが可能となり、後方にスピーカーを置くことなく、前方のスピーカーだけで広がりのあるサラウンドを楽しむことができます。

サウンドフィールドを自動的に選ぶ

■AUTO（オート）

音声信号の種類を判別し、最適なサウンドフィールドをサラウンドモード（FOCUS SURROUNDまたはWIDE SURROUND）または2CH STEREOより自動的に選びます。お買い上げ時のAUTO設定はFOCUS SURROUNDです。

お買い上げ時のAUTO設定を変えるには、以下の操作を行ってください。

1. アンプメニューボタンを押す。
2. ↑/↓を使って「AUTO MODE」を選び、→または決定ボタンを押す。
3. ↑/↓を使って「FOCUS SURR」または「WIDE SURR」を選び、決定ボタンを押す（AUTOでは「2CH STEREO」には設定できません）。

フロントサラウンドの効果を楽しむ

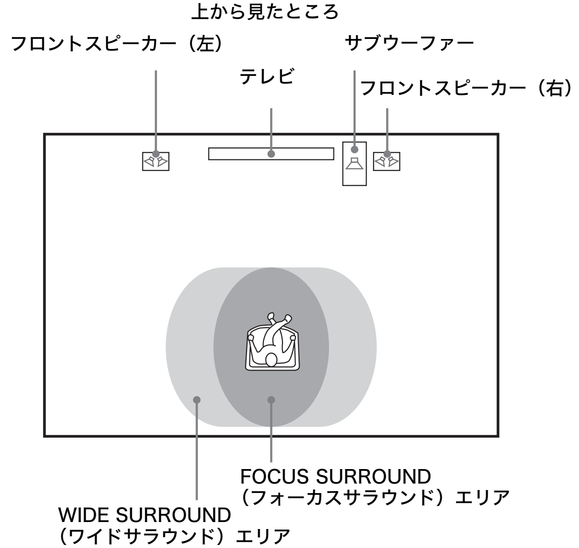
視聴位置によって FOCUS SURROUND または WIDE SURROUND の 2 種類のフロントサラウンドを楽しめます。

■ FOCUS SURROUND（フォーカスサラウンド）

WIDE SURROUNDに比べて、より効果的なサラウンドサウンドを楽しめます。

■ WIDE SURROUND（ワイドサラウンド)

FOCUS SURROUNDに比べて、より広いリスニングエリアでサラウンドサウンドを楽しめます。FOCUS SURROUNDよりはサラウンドサウンドの効果は弱まります。



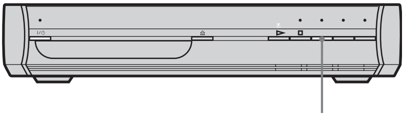
2チャンネルステレオで聞く

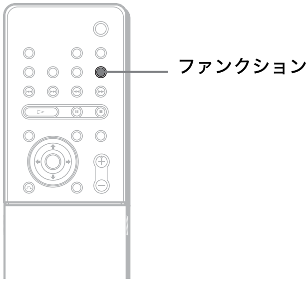
■ 2CH STEREO（2チャンネルステレオ）

音声信号の種類にかかわらず、2チャンネルステレオで再生します。

テレビの音声を楽しむ

本機のスピーカーでテレビの音声を楽しめます。
接続について詳しくは「テレビをつなぐ(テレビの音を本機のスピーカーで聞くための接続)」（32ページ）をご覧ください。





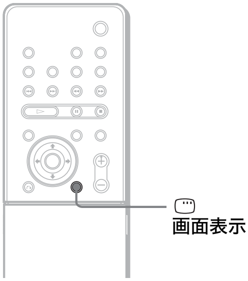
ご注意

- 「TV」の表示が出ないときは、「その他の機器にあわせて設定する」（40ページ）を確認してください。
- テレビの音量は消してください。

1 ファンクションボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「TV」を表示する。

2 テレビの電源を入れる。

コントロールメニュー画面の見かた



コントロールメニュー画面を使って、ファンクションを選んだり、関連する情報を選んだりします。画面表示ボタンを繰り返し押すと、テレビの表示は以下のように切り換わります。

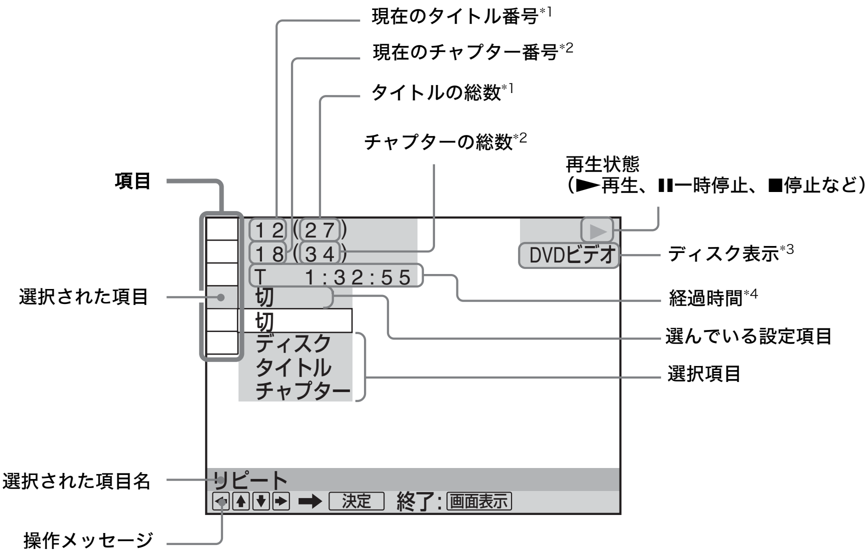
コントロールメニュー画面　1
↓
コントロールメニュー画面　2（特定のディスクのみ表示）
↓
コントロールメニュー画面　切

次のページへつづく

コントロールメニュー画面表示

ここでは、コントロールメニュー画面について説明します。画面表示ボタンを押すと表示されます。詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

例：DVDビデオ再生中のコントロールメニュー画面　1



*1 PBC 再生時のビデオ CD のシーン、ビデオ CD/ スーパーオーディオ CD/CD のトラック、データ CD のアルバムを表示します。
*2 ビデオ CD/ スーパーオーディオ CD のインデックス、MP3 音声トラック、JPEG 画像ファイルを表示します。
*3 スーパー VCD は SVCD と表示します。データ CD の場合、MP3 音声トラックはコントロールメニュー画面 1、JPEG 画像ファイルはコントロールメニュー画面 2 に表示します。
*4 JPEG 画像ファイルの場合は、コントロールメニュー画面 2 に日付を表示します。

コントロールメニュー画面表示を消すには

画面表示ボタンを押します。

コントロールメニュー画面項目一覧

項目	項目名、機能、可能なディスクの種類
	タイトル（53 ページ）/ シーン（53 ページ）/ トラック（53 ページ） 再生するタイトル、シーン、トラックを選びます。 DVD-V DVD-RW VIDEO CD
	チャプター（53 ページ）/ インデックス（53 ページ） 再生するチャプター、インデックスを選びます。 DVD-V DVD-RW VIDEO CD
	インデックス（53 ページ） インデックスを表示、または再生するインデックスを選びます。 Super Audio CD
	トラック（53 ページ） 再生するトラックを選びます。 CD DATA-CD Super Audio CD

	オリジナル / プレイリスト（63 ページ） 再生するタイトルの種類、オリジナルのタイトルあるいは編集して作成されたプレイリストを選びます。 DVD-RW
	時間 / テキスト（53 ページ） 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。DVD や CD のテキスト、MP3 音声トラック名を表示します。 DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD Super Audio CD
	プログラム（57 ページ） トラックを選んで好きな順に再生します。 VIDEO CD CD Super Audio CD
	シャッフル（59 ページ） トラックをランダム (無作為) な順番で再生します。 VIDEO CD CD Super Audio CD
	リピート（60 ページ） ディスク全体 (全タイトル / 全トラック / 全アルバム) または 1 つのタイトル / チャプター / トラック / アルバムを繰り返し再生します。 DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD Super Audio CD
	視聴制限（68 ページ） 特定のディスクやシーンの再生を禁止する設定をします。 DVD-V VIDEO CD CD Super Audio CD
	設定（94 ページ） [クイック]セットアップ（26ページ） つないだテレビに合う画面の縦横比の設定をします。 [カスタム]セットアップ クイックセットアップに加えて、さまざまな設定をします。 [リセット] クイックセットアップ、カスタムセットアップでの設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。 DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD Super Audio CD
	アルバム（53 ページ） 再生するアルバムを選びます。 DATA-CD
	ファイル（53 ページ） 再生する JPEG 画像ファイルを選びます。 DATA-CD
	日付（66 ページ） JPEG 画像ファイルが撮影された日付を表示します。 DATA-CD
	スライド送り時間（79 ページ） スライドショーの表示する間隔を選びます。 DATA-CD
	スライド効果（79 ページ） スライドショーの表示が変わるときの効果を選びます。 DATA-CD
	音声映像選択モード（79 ページ） データ CD を再生するときに、再生するデータの種類：MP3 音声トラック (音声)、JPEG 画像ファイル (映像)、または両方 (自動) を選びます。 DATA-CD

ちょっと一言

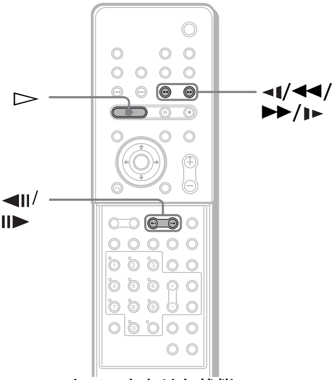
• コントロールメニュー画面のアイコンは、[切]以外を選んでいるときは緑に点灯します → ([プログラム]、[シャッフル]、[リピート]のみ)。[オリジナル/プレイリスト]アイコンは、[プレイリスト]を選んでいるときに緑に点灯します。

見たいところ、聞きたいところを探す

（スキャン/スロー再生/コマ送り）

DVD-V DVD-RW VIDEO CD SuperAudioCD CD DATA-CD

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところを探したり、
スロー再生をすることができます。



カバーをあけた状態

ご注意

- DVD、ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。

早送り再生/早戻し再生をして見たいところ、聞きたいところを探す（スキャン）

（JPEG画像ファイルを除く）

ディスクを再生中に、◀▮◀◀ または▶▶▮▶ を押します。見たいところを見つけたら、▷ を押して通常のスピードにします。スキャン中に ◀▮◀◀または▶▶▮▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。ディスクによって実際の速さは異なります。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

再生方向

×2▶ → 1 ▶▶ → 2 ▶▶ → 3 ▶▶ (→ ×2▶)

3 ▶▶（DVDビデオ/DVD-RW/ビデオCDのみ）
×2▶（DVDビデオ/スーパーオーディオCD/CDのみ）

逆方向

×2◀ → 1 ◀◀ → 2 ◀◀ → 3 ◀◀ (→ ×2◀)

3 ◀◀（DVDビデオ/DVD-RW/ビデオCDのみ）
×2◀（DVDビデオのみ）

×2▶/×2◀は通常の約2倍の速度で再生します。1◀◀/1▶▶より、2◀◀/2▶▶のほうが、また2◀◀/2▶▶より、3◀◀/3▶▶のほうが、高速で再生します。

スロー再生をする

（DVDビデオ、DVD-RW、ビデオCDのみ）

本機が一時停止中に◀▮◀◀または▶▶▮▶を押します。▷を押すと通常の再生に戻ります。スロー再生をしているとき、ボタンを押すたびにスロー再生の速さが変わります。2種類の速さを選ぶことができます。ボタンを押すたびに次のように表示が切り替わります。

再生方向
2 ▮▶ ←→ 1 ▮▶

逆方向（DVDビデオ/DVD-RWのみ）
2 ◀▮ ←→ 1 ◀▮

1 ▮▶ /1 ◀▮ より2 ▮▶ /2 ◀▮ のほうが、低速で再生します。

コマ送りで見る

（スーパーオーディオCD、CD、JPEG画像ファイルを除く）

一時停止中に再生方向は●➡/▮▮▶（ステップ）、逆方向（DVDビデオ、DVD-RWのみ）は⬅●/◀▮▮（ステップ）を押します。▷を押すと通常の再生に戻ります。

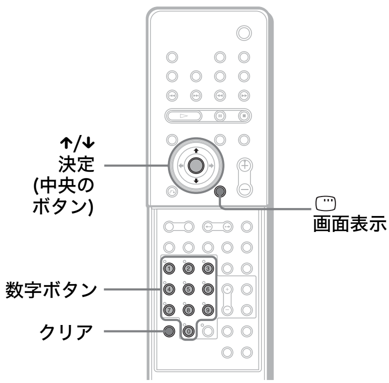
ご注意

- DVD-RW（VRモード）では、静止画はサーチできません。

タイトルやチャプター、トラック、シーンなどを使って検索する

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　Super Audio CD　CD　DATA-CD

タイトル/チャプターでDVDを、トラック/インデックス/シーンでCD、ビデオCD、スーパーオーディオCD、データCDを検索できます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます（タイムサーチ）。



カバーをあけた状態

1　画面表示ボタンを押す（データCDのJPEG画像ファイルを再生しているときは画面表示ボタンを2回押す）。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

次のページへつづく

2 ↑/↓ を使って、検索項目を選ぶ。

■ DVDビデオ、DVD-RWのとき

[タイトル]

[チャプター]

[時間/テキスト]

タイムコードを入力して場面を探すときは、[時間/テキスト]を選んでください。

■ PBC再生を使っていないビデオCD、スーパー VCDのとき

[トラック]

[インデックス]

■ PBC再生を使ったビデオCD、スーパー VCDのとき

[シーン]

■ スーパーオーディオCDのとき

[トラック]

[インデックス]

■ CDのとき

[トラック]

■ データCD（MP3音声トラック）のとき

[アルバム]

[トラック]

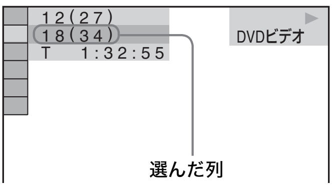
■ データCD（JPEG画像ファイル）のとき

[アルバム]

[ファイル]

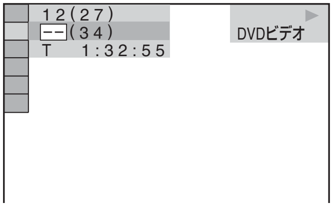
例） [チャプター]を選んだとき

[**（**）]が選ばれます（**は任意の数字）。カッコ内の数字はチャプターの総数です。



3 決定ボタンを押す。

[**（**）]が[--（**）]に変わります。



4 ↑/↓ または数字ボタンでタイトル、チャプター、トラック、インデックス、シーンなどの番号を入力する。

間違えたときは

クリアボタンを押して、入力しなおします。

5 決定ボタンを押す。

選んだ番号のチャプターやインデックスなどの再生が始まります。

タイムコードを入力して場面を探すには（タイムサーチ）（DVDビデオ/DVD-RWのみ）

1 手順2で [時間/テキスト]を選ぶ。
[T**:**:**](現在のタイトルの経過時間)が選ばれます。

2 決定ボタンを押す。
[T**:**:**]が[T--:--:--]に変わります。

3 数字ボタンでタイムコードを入力し、決定ボタンを押す。
例えば、始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、[2:10:20]と入力します。

ちょっと一言

- テレビにコントロールメニューが表示されていなくても、数字ボタンと決定ボタンを押してチャプター (DVDビデオ、DVD－RW)やトラック(スーパーオーディオCD、CD)を探すことができます。

ご注意

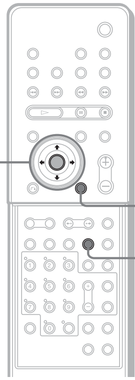
- DVD+RWではタイムコードを使って検索することはできません。

シーンで検索する

(ピクチャーナビ)

DVD-V　VIDEO CD

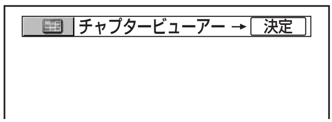
画面を9分割して、見たいシーンをすばやく検索できます。



カバーをあけた状態

1　再生しているときに、ピクチャーナビボタンを押す。

テレビに、次の画面が表示されます。



2　ピクチャーナビボタンを繰り返し押して、項目を選びます。

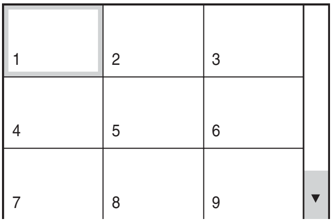
- [タイトルビューアー]（DVDビデオのみ）：それぞれのタイトルの最初のシーンを表示します。
- [チャプタービューアー]（DVDビデオのみ）：それぞれのチャプターの最初のシーンを表示します。

次のページへつづく

- [トラックビューアー]（ビデオCD、スーパー VCDのみ）：それぞれのトラックの最初のシーンを表示します。

3 決定ボタンを押す。

次のようにそれぞれのタイトル、チャプター、またはトラックの最初のシーンが表示されます。



4 ←/↑/↓/→ を使って、タイトル、チャプター、トラックを選び、決定ボタンを押す。

選んだシーンから再生が始まります。

設定の途中で通常の再生に戻るには

リターンボタンまたは 画面表示ボタンを押します。

ご注意

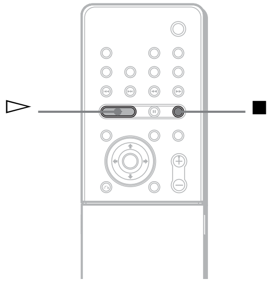
- ディスクによっては、操作を禁止している場合があります。

再生を止めたところから再生する

（リジューム再生）

DVD-V DVD-RW VIDEO CD Super Audio CD CD DATA-CD

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます（再生を止めたあと、本体の表示窓に「Resume」が表示されます）。



1 ディスクの再生中、■を押して、再生を止める。

本体の表示窓に「Resume」と表示されます。「Resume」が表示されないときはリジューム再生はできません。

2 ▷ を押す。

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

複数枚のディスクをリジューム再生する（つづき再生機能）

（DVDビデオ、ビデオCDのみ）

本機は、途中で再生をやめたディスクを取り出し、次にまた再生するときに続きから再生できるように、40枚まで記録することができます。41枚目を記録した場合、最初の１枚目の記憶が消去されます。

この機能を使うには、[視聴設定]の[つづき再生機能]を[入]にしてください。詳しくは「つづき再生機能（DVDビデオ、ビデオCDのみ）」（99ページ）をご覧ください。

ご注意

- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、リジューム再生できません。
  - ー プログラム再生（57ページ）、シャッフル再生（59ページ）、リピート再生（60ページ）の設定を変えたとき
  - ー 設定画面（DVDビデオのみ。94ページ）で設定を変更したとき
  - ー ファンクションボタンを押してファンクションを変えたとき
- VRモードのDVD-RW、スーパーオーディオCD、CD、データCDは現在再生しているディスクのみ再生を止めたところを記録します。次の場合、再生を止めたところの記録は消え、リジューム再生できません。
  - ー ディスクを取り出したとき
  - ー 本機がスタンバイモードになったとき（データCDのみ）
- プログラム再生またはシャッフル再生のときは、リジューム再生できません。
- ディスクによってはリジューム再生できません。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 記録されたディスク(DVD-RWなど)をつづき再生設定した場合、他の記録されたディスクも途中から再生されることがあります。

ちょっと一言

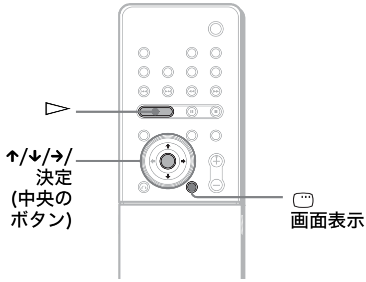
- ディスクを最初から再生したいときは、■ を2回押してから、▷ を押します。

好きな順に再生する

（プログラム再生）

VIDEO CD　Super Audio CD　CD

ディスクの中のトラックを選んで好きな順に再生できます。最大99のトラックを、再生したい順にプログラムできます。

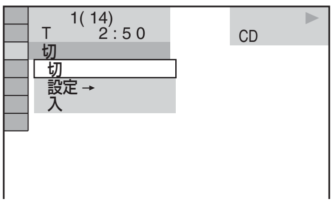


1 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

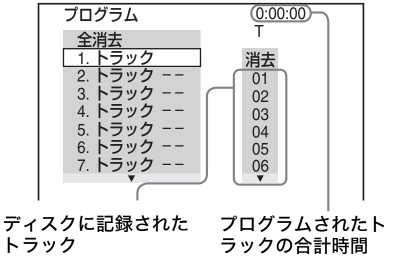
2 ↑/↓ ボタンを使って [プログラム]を選び、決定ボタンを押す。

[プログラム]の項目が表示されます。



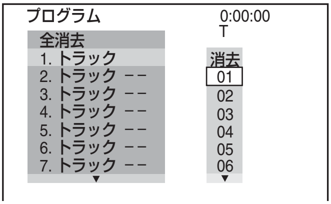
次のページへつづく

3 ↑/↓ ボタンを使って[設定→]を選び、決定ボタンを押す。



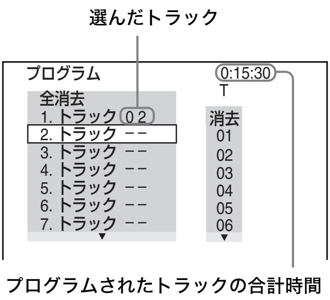
4 → を押す。

カーソルがトラックの列[T]（例では[01]）に移動します。



5 プログラムしたいトラックを選ぶ。

例えば、トラック[02]を選びます。
↑/↓を使って[T]の下にある[02]を選び、決定ボタンを押します。スーパーオーディオCDではトラックの番号は3桁で表示されます。



6 続けて再生するトラックを設定したいときは、手順4、5を繰り返す。

プログラムしたトラックは、選んだ順に表示されます。

7 ▷を押してプログラム再生を始めます。

プログラム再生が始まります。本体の表示窓に「PGM」が点灯します。プログラム再生が終わったとき、▷を押すと同じプログラムを再生します。

通常の再生に戻るには

クリアボタンを押すか、手順2で「切」を選んでください。同じプログラムを再生したいときは、手順3で[入]を選んだ後、決定ボタンを押します。

コントロールメニュー画面表示を消すには

コントロールメニュー画面表示が消えるまで、繰り返し画面表示ボタンを押します。

プログラムした内容を変えるには

1 「好きな順に再生する(プログラム再生)」の手順1から3を行う。
2 ↑/↓を使って、変えたい、またはキャンセルしたいトラックナンバーを選ぶ。プログラムしたトラックを消去したい場合は、クリアボタンを押す。
3 新しいプログラムを設定するには手順5を行う。プログラムをキャンセルするには[消去]を選び、決定ボタンを押す。

プログラムしたすべての内容をキャンセルするには

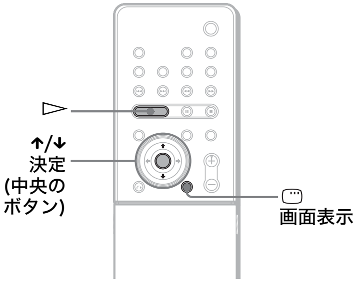
1 「好きな順に再生する(プログラム再生)」の手順1から3を行う。
2 ↑ を押して、[全消去]を選ぶ。
3 決定ボタンを押す。

順不同に再生する

(シャッフル再生)

VIDEO CD　Super Audio CD　CD

ディスク上に記録されたトラックの順番に関係なく、本機がランダム（無作為）に順番を選んで再生します。再生する順番は、シャッフル再生するたびに変わります。

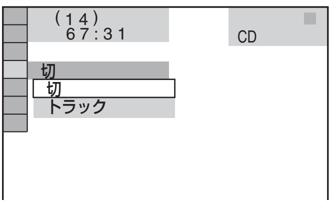


1 ディスクを再生しているときは、再生を止めてから画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ を使って [シャッフル]を選び、決定ボタンを押す。

[シャッフル]の項目が表示されます。



3 ↑/↓ を使ってシャッフル再生したい項目を選ぶ。

■ビデオCD、スーパーオーディオCD、またはCDを再生しているとき

- [トラック]：ディスクのトラックをシャッフル再生します。

■プログラム再生を使っているとき

- [入]：プログラム再生の中でシャッフル再生されます。

4 決定ボタンを押す。

本体の表示窓に「SHUF」が点灯します。

5 ▷を押す。

シャッフル再生が始まります。

通常の再生に戻るには

クリアボタンを押すか、または手順2で[切]を選びます。

コントロールメニュー画面表示を消すには

コントロールメニュー画面表示が消えるまで、繰り返し画面表示ボタンを押します。

ちょっと一言

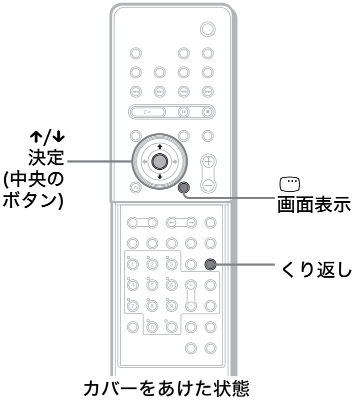
- シャッフル再生は、再生中でも設定できます。

繰り返し再生する

（リピート再生）

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　Super Audio CD　CD
DATA-CD

ディスクのすべて、または1つのタイトル/チャプター/トラック/アルバムを繰り返し再生できます。
シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせて使うこともできます。

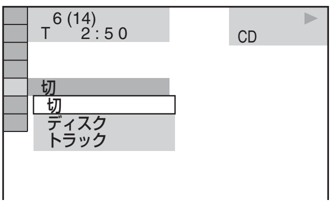


1 ディスクの再生中に 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ を使って [リピート]を選び、決定ボタンを押す。

[リピート]の項目が表示されます。



3 ↑/↓ を使ってリピート再生したい種類を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

■DVDビデオまたはDVD-RWのとき

- [切]：リピート再生をオフにします。
- [ディスク]：ディスクのすべてのタイトルを繰り返し再生します。
- [タイトル]：再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- [チャプター]：再生中のチャプターを繰り返し再生します。

■ビデオCD、スーパーオーディオCD、またはCDのとき

- [切]：リピート再生をオフにします。
- [ディスク]：ディスクのすべてのトラックを繰り返し再生します。
- [トラック]：再生中のトラックを繰り返し再生します。

■データCDのとき

- [切]：リピート再生をオフにします。
- [ディスク]：ディスクのすべてのアルバムを繰り返し再生します。
- [アルバム]：再生中のアルバムを繰り返し再生します。
- [トラック]（MP3音声トラックのみ）：再生中のトラックを繰り返し再生します。

4 決定ボタンを押す。

選んだ種類でリピート再生になります。

通常の再生に戻るには

クリアボタンを押すか、または手順2で[切]を選びます。

コントロールメニュー画面表示を消すには

コントロールメニュー画面表示が消えるまで、繰り返し 画面表示ボタンを押します。

ご注意

- [映像音声選択モード]で[映像（JPEG）]を選んでいるときは、[トラック]を選択できません。

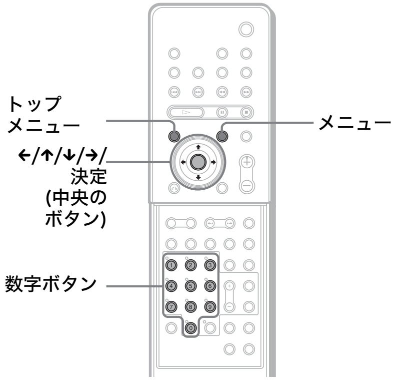
ちょっと一言

- リピート再生は停止中でも設定できます。
- リモコンのくり返しボタンを押してリピート再生を設定することもできます。
- 選んだリピート再生の種類によって、本体の表示窓に以下の文字が点灯します。
  - 「REP」：再生中のディスク全体またはアルバム全体を繰り返します。
  - 「REP1」：ディスクの1つのタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生します。

DVDに記録されているメニューを使う

DVD-V

複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDを再生するときは、トップメニューボタンで好きなタイトルを選べます。
ディスクの内容をメニューで選択できるDVDを再生するときは、再生したい項目や字幕の言語、音声の言語などをメニューボタンで選べます。



カバーをあけた状態

1 トップメニューボタンまたはメニューボタンを押す。

ディスクに記録されたメニューがテレビに表示されます。メニューの内容はディスクによって異なります。

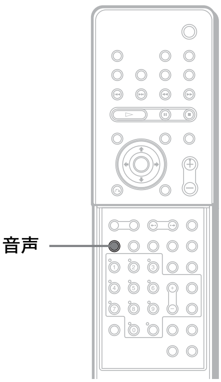
2 再生または変更したい項目を←/↑/↓/→ または数字ボタンで選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

音声を切り換える

DVD-V **DVD-RW** **VIDEO CD** **CD** **DATA-CD**

DVDビデオの中には、複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているものや、複数の音声記録方式（PCM、ドルビーデジタル、DTSなど）で録音されているものがあります。このようなDVDビデオでは、再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。
また、CD、ビデオCD、MP3音声トラック再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオCDなどで、伴奏だけを聞くこともできます。

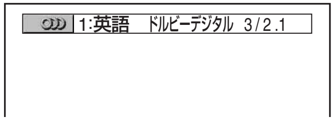


カバーをあけた状態

1 ディスクを再生中に音声ボタンを押す。

テレビに、次の画面が表示されます。

DVDビデオの場合



2 音声ボタンを繰り返し押して、お好みの音声を選ぶ。

■ DVDビデオのとき

選べる言語はDVDビデオによって異なります。
4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（112ページ）を参照してください。同じ言語が2つ以上表示されたときは、音声記録方式(音声チャンネル数など)が異なります。

■ DVD-RWのとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
例：

- [1:音声言語]
- [2:音声言語]

ご注意

- ディスクに１つの音声しか記録されていないときは、[2:音声言語]は表示されません。

■ ビデオCD、CD、データCD（MP3音声トラック）のとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

- [ステレオ]：通常のステレオ再生
- [1/L]：左チャンネルの音(モノラル)
- [2/R]：右チャンネルの音(モノラル)

■スーパー VCDのとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

- [<u>1：ステレオ</u>]：音声トラック１のステレオ再生
- [1：1/L]：音声トラック1の左チャンネルの音（モノラル）
- [1：2/R]：音声トラック１の右チャンネルの音（モノラル）
- [2：ステレオ]：音声トラック2のステレオ再生
- [2：1/L]：音声トラック2の左チャンネルの音（モノラル）
- [2：2/R]：音声トラック2の右チャンネルの音（モノラル）

ご注意

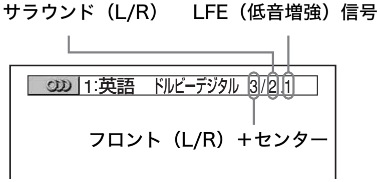
- [2：ステレオ]、[2：1/L]、または[2：2/R]を選んでいるときは、音声トラック2が記録されていないスーパー VCDを再生しても音が出ません。

音声信号の種類を調べるには（DVDビデオのみ）

ディスクの再生中に音声ボタンを繰り返し押すと、テレビ画面に現在の音声信号の種類（PCM、ドルビーデジタル、DTSなど）が表示されます。ディスクによっては表示されない場合があります。

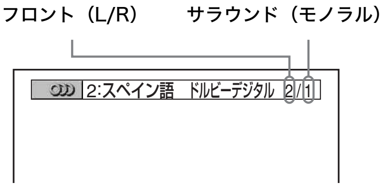
例：

ドルビーデジタル5.1chの場合



例：

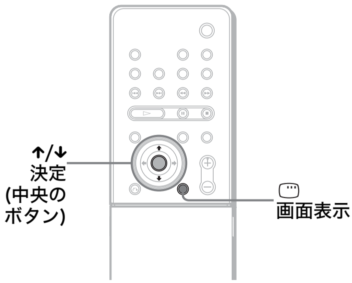
ドルビーデジタル3chの場合



DVD-RWの[オリジナル]または[プレイリスト]を選んで再生する

DVD-RW

VRモードのDVD-RWの中には、2種類の再生方法が選べる場合があります。ディスクに実際に記録される[オリジナル]のタイトルと、DVDレコーダー等で編集して作成される[プレイリスト]という2種類のタイトルがあります。いずれかを選んで再生できます。

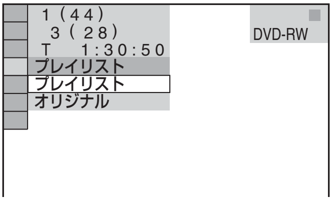


1　ディスクを再生しているときは、再生を止めてから画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

2　↑/↓ を使って[オリジナル/プレイリスト]を選び、決定ボタンを押す。

[オリジナル/プレイリスト]の項目が表示されます。



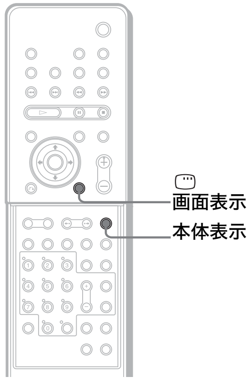
3 ↑/↓ を使って項目を選ぶ。

- [プレイリスト]：オリジナルをもとに編集して作られたタイトルを再生します。
- [オリジナル]：記録された元のタイトルを再生します。

4 決定ボタンを押す。

ディスクの情報を見る

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　Super Audio CD　CD　DATA-CD



カバーをあけた状態

本体の表示窓で経過時間や残り時間を見る

本体の表示窓で、残り時間や、DVDの総タイトル数、ビデオCD、スーパーオーディオCD、CDまたはMP3音声のトラックなどの情報を見ることができます（114ページ）。

本体表示ボタンを押す。

ディスクの再生中に、本体表示ボタンを押すたびに、本体の表示窓は次のように切り替わります。

DVDビデオまたはDVD-RW再生のとき

現在のタイトル番号と経過時間
↓
現在のタイトルの残り時間
↓
現在のチャプター番号と経過時間
↓
現在のチャプターの残り時間
↓
ディスクの名前
↓
現在のタイトル番号とチャプター番号
↓
2秒後に表示内容は最初に戻ります。

ビデオCD（PBC再生中以外）、スーパーオーディオCDまたはCD再生のとき

現在のトラック番号と経過時間
↓
現在のトラックの残り時間
↓
ディスクの経過時間
↓
ディスクの残り時間
↓
ディスクの名前
↓
現在のトラック番号とインデックス* 番号
↓
2秒後に表示内容は最初に戻ります。

＊ CDは除く。

MP3音声トラック再生のとき

現在のトラック番号と経過時間
↓
トラック*の名前

＊ トラックの名前は、ファイル名を表示します。

ご注意

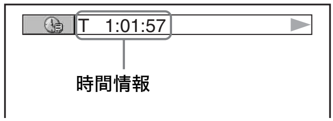
- MP3音声トラックの名前を表示できないときは、本体の表示窓に「*」が表示されます。
- テキストによっては、ディスクやトラックの名前が表示されない場合があります。
- MP3音声トラックの経過時間は正確に表示されない場合があります。
- アルファベット文字と数字のみ表示されます。
- 再生されているディスクの種類によっては、限られた文字数までしか表示されない場合があります。

テレビで経過時間や残り時間を見る

現在のタイトル、チャプター、トラックの経過時間や残り時間、ディスクの経過時間、残り時間を見ることができます。

1 ディスクの再生中に本体表示ボタンを押す。

テレビに、次の画面が表示されます。



2 本体表示ボタンを繰り返し押して、時間情報を切り替えます。

ディスクの種類によって、時間情報の表示が切り替わります。

■ **DVDビデオまたはDVD-RW再生のとき**

- T　**:**:**（時:分:秒）
  現在のタイトルの経過時間
- T−**:**:**
  現在のタイトルの残り時間
- C　**:**:**
  現在のチャプターの経過時間
- C−**:**:**
  現在のチャプターの残り時間

■ **ビデオCD（PBC再生）再生のとき**

- **:**（分:秒）
  現在のシーンの経過時間

次のページへつづく

■ ビデオCD（PBC再生以外）、スーパーオーディオCD、またはCD再生のとき

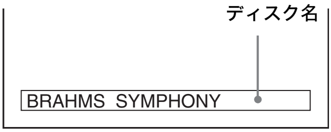
- T　**:**（分:秒）
  現在のトラックの経過時間
- T−**:**
  現在のトラックの残り時間
- D　**:**
  現在のディスクの経過時間
- D−**:**
  現在のディスクの残り時間

■ データCD（MP3音声トラック）再生のとき

- T　**:**（分:秒）
  現在のトラックの経過時間

テレビでDVD、スーパーオーディオCD、CDのテキスト情報を見る

「テレビで経過時間や残り時間を見る」（65ページ）の手順2で本体表示ボタンを繰り返し押して、DVD、スーパーオーディオCD、CDに記録されたディスク名をテレビに表示します。
ディスク名を変更することはできません。もしディスク名が記録されていないときは、テレビに「NO TEXT」と表示されます。



ご注意

- 再生されているディスクの種類によっては、限られた文字数までしか表示されない場合があります。

テレビでデータCD（MP3音声トラック）のテキスト情報を見る

データCDのMP3音声トラックを再生中に本体表示ボタンを押すと、テレビにアルバム名やトラック名、音声のビットレート（1秒あたりのデータ量）を表示できます。



* データCDのMP3音声トラックを再生しているときに表示されます。

ご注意

- 再生されているディスクの種類によっては、限られた文字数までしか表示されない場合があります。

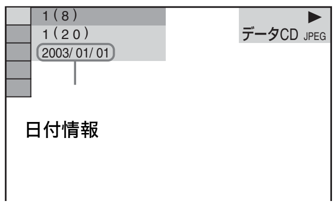
テレビで日付情報を見る

（JPEG画像ファイルのみ）

Exif*タグ情報が記録されているJPEG画像ファイルを再生しているときに、日付情報をテレビで見ることができます。

再生中に 画面表示ボタンを2回押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。



* Exchangeable Image File Formatは日本電子工業振興会が制定したデジタルカメラ用画像ファイルフォーマット規格です。

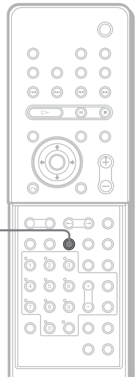
ちょっと一言

- 日付情報は[年、月、日]の順で表示されます。

アングルを切り換える

DVD-V

複数のアングル（マルチアングル）がディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えることができます。



カバーをあけた状態

ディスクの再生中にアングルボタンを押す。

アングルボタンを押すたびに、アングルが変わります。

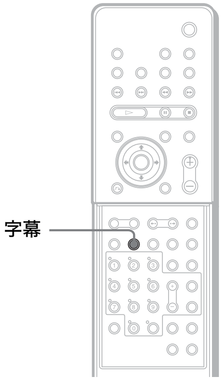
ご注意

- ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する

DVD-V　DVD-RW

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりできます。複数の言語（マルチランゲージ）で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えることができます。



カバーをあけた状態

ディスクの再生中に字幕ボタンを押す。

字幕ボタンを押すたびに、字幕の言語が変わります。

ご注意

- ディスクによっては複数の言語で字幕が記録されていても、字幕表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

ディスクの再生を制限する

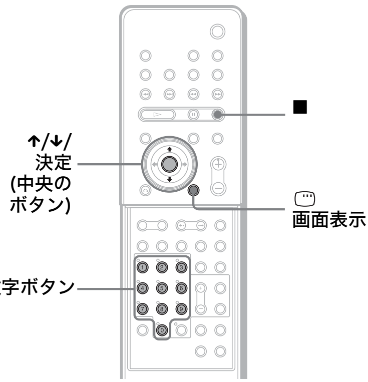
（カスタム視聴制限、視聴制限）

DVD-V　VIDEO CD　Super Audio CD　CD

本機には、ディスクの再生を制限する次の2種類の機能があります。

- カスタム視聴制限
  本機で特定のディスクを再生できないようにする。
- 視聴制限
  視聴制限つきDVDビデオの再生できるシーンを制限する。

カスタム視聴制限も視聴制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。



カバーをあけた状態

カスタム視聴制限—設定する

登録した同じ暗証番号を使って、40枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。41枚目のディスクを設定すると、1番最初に設定したディスクの制限が解除されます。

1 設定したいディスクを入れる。

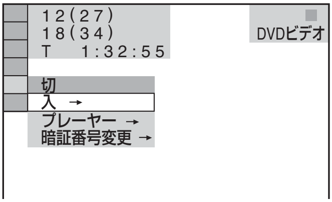
ディスクを再生しているときは、■を押して再生を止めます。

2 停止中に 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓ で [視聴制限]を選び、決定ボタンまたは→を押す。

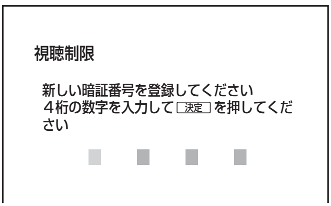
[視聴制限]が選ばれます。



4 ↑/↓で[入→]を選び、決定ボタンを押す。

■ 暗証番号が登録されていないとき

暗証番号登録の画面が表示されます。

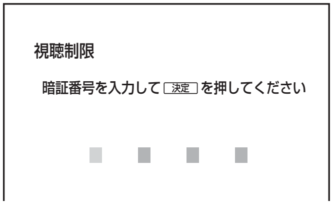


数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

暗証番号確認の画面が出ます。

■ 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。



5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

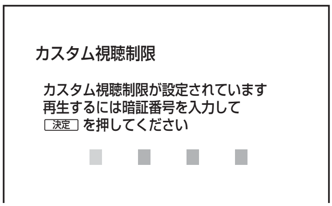
テレビに、[カスタム視聴制限を設定しました]と表示され、コントロールメニューの画面に戻ります。

カスタム視聴制限を解除するには

1. 「カスタム視聴制限—設定する」の手順1から3までを行う。
2. ↑/↓ を使って、[切 →]を選び、決定ボタンを押す。
3. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

カスタム視聴制限を設定したディスクを再生するには

1. カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる。
   カスタム視聴制限の画面が表示されます。



2. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
   再生できる状態になります。

次のページへつづく

ちょっと一言

- 暗証番号を忘れてしまったときは、カスタム視聴制限の画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力します。画面に、新しい4桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

視聴制限―設定する

（DVDビデオのみ）

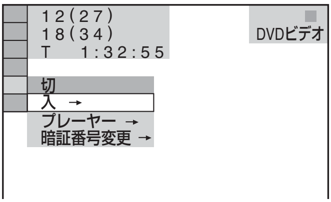
DVDビデオの中には、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

1　ディスクを再生しているときは、再生を止めてから 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

2　↑/↓ を使って [視聴制限]を選び、決定ボタンを押す。

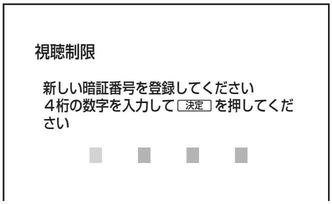
視聴制限の選択項目が表示されます。



3　↑/↓ を使って[プレーヤー →]を選び、決定ボタンを押す。

■ 暗証番号が登録されていないとき

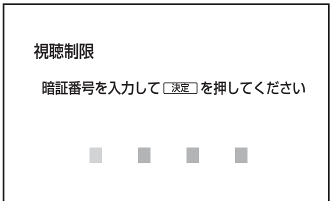
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が出ます。

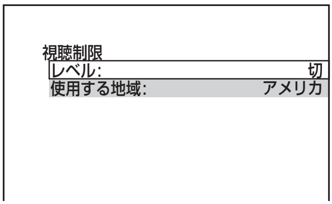
■ 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。



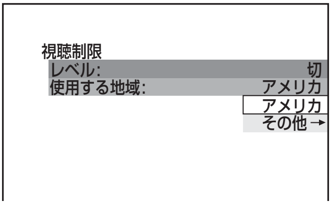
4　数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

視聴制限のレベル設定の画面が表示されます。



5　↑/↓ を使って[使用する地域]を選び、決定ボタンを押す。

[使用する地域]の選択項目が表示されます。

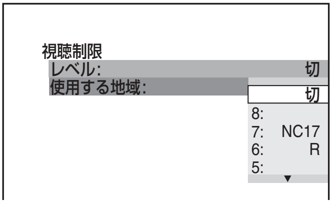


6 **↑/↓ を使って視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す。**

[その他→]を選んだときは、72ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

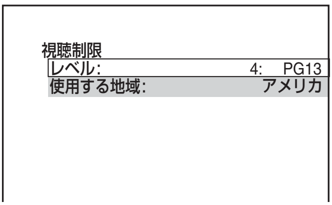
7 **↑/↓ を使って[レベル]を選び、決定ボタンを押す。**

[レベル]の選択項目が表示されます。



8 **↑/↓ を使って視聴制限レベルを選び、決定を押す。**

視聴制限の設定が終了します。



レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

視聴制限を解除するときは

手順8で[レベル]を[切]にします。

視聴制限されたディスクを再生するには

1 ディスクを入れて、▷を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

ちょっと一言

- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「カスタム視聴制限—設定する」の手順1～3にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定ボタンを押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。
  新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、▷ を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入れます。

ご注意

- 視聴制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- DVDによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。
  つづき再生機能（57ページ）が解除されると、設定した元のレベルに戻ります。

地域コード

使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044
イギリス	2184
イタリア	2254
インド	2248
インドネシア	2238
オーストラリア	2047
オーストリア	2046
オランダ	2376
カナダ	2079
韓国	2304
シンガポール	2501
スイス	2086
スウェーデン	2499
スペイン	2149
タイ	2528
中国	2092
チリ	2090
デンマーク	2115
ドイツ	2109
日本	2276
ニュージーランド	2390
ノルウェー	2379
パキスタン	2427
フィリピン	2424
フィンランド	2165
ブラジル	2070
フランス	2174
ベルギー	2057
ポルトガル	2436
マレーシア	2363
メキシコ	2362
ロシア	2489

暗証番号を変更するには

1　ディスクを再生しているときは、再生を止めてから 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

2　↑/↓ を使って [視聴制限]を選び、決定ボタンを押す。

[視聴制限]の選択項目が表示されます。

3　↑/↓ を使って[暗証番号変更→]を選び、決定ボタンを押す。

暗証番号入力の画面が表示されます。

4　数字ボタンを使って４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

5　数字ボタンを使って新しい４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

6　確認のために、数字ボタンを使って暗証番号を再度入力し、決定ボタンを押す。

暗証番号の入力を間違えたときは

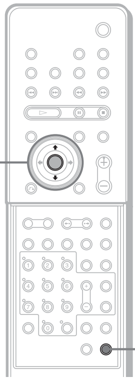
決定ボタンを押す前に←を押して、正しい数字を入力します。

音声と映像のずれを調節する

（A/Vシンク機能）

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD

つないだテレビによっては、音声と映像がずれることがあります。そのようなときは、ずれを調節することができます。



カバーをあけた状態

1　アンプメニューボタンを押す。

2　↑/↓ を繰り返し押して、「A/V SYNC」を本体の表示窓に表示させ、決定ボタンまたは → を押す。

3　↑/↓ を使って、設定を選ぶ。

- 「SYNC OFF」：A/Vシンク機能を使わない。
- 「SYNC ON」：A/Vシンク機能を使って、音声と映像のずれを調節する。

4　決定ボタンまたはアンプメニューボタンを押す。

アンプメニュー画面表示が消えます。

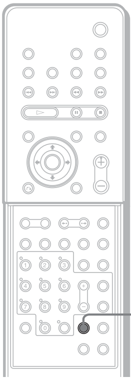
ご注意

- 入力信号によっては、この機能が使えない場合があります。
- この機能はAAC（AACについては90ページをご覧ください）には対応していません。
- ソニー製テレビの中には、「リップシンク」や「AVシンク」という名称で、本機と同様のA/Vシンク機能を持つものがあります。本機でA/Vシンク機能を入（「SYNC ON」）にしたときは、テレビ側でのA/Vシンク機能は切にしてください。

スーパーオーディオCDの再生レイヤーを選ぶ

Super Audio CD

スーパーオーディオCDの中には、スーパーオーディオCDレイヤーとCDレイヤーから構成されているものがあります。お好みの再生レイヤーを選んで再生できます。



ディスクを再生しているときは、再生を止めてからSA-CD/CDボタンを押す。

ボタンを押すたびにスーパーオーディオCDレイヤーとCDレイヤーが切り替わります。
スーパーオーディオCDレイヤーを再生しているときは、本体の表示窓に「SA-CD」が点灯します。

ご注意

- スーパーオーディオCDについて、詳しくは11ページをご覧ください。
- プログラム再生（57ページ）、シャッフル再生（59ページ）、リピート再生（60ページ）の機能は、選択している再生レイヤーにのみ有効です。
- 再生の途中で再生レイヤーを切り替えることはできません。
- スーパーオーディオCDの音声信号はHDMI 出力端子からは出力できません。

MP3音声トラックとJPEG画像ファイルについて

DATA-CD

MP3音声トラックとJPEG画像ファイルとは

MP3音声トラックはISO/IEC MPEG準拠の音声圧縮技術で記録された音声データです。JPEG画像ファイルは画像圧縮技術で記録された画像データです。

本機で再生できるディスク

データCD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）に記録されているMP3（MPEG 1 Audio Layer 3）音声トラックとJPEG画像ファイルを再生できます。
ディスクはISO9660のレベル1/レベル2、またはそれらの拡張フォーマット/Joliet準拠で記録されたものが再生可能です。マルチセッション方式で記録されたディスクも再生できます。
記録方式について詳しくはCD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスクについて

MP3音声トラックまたはJPEG画像ファイルがディスクの最初のセッションに記録されているときは、そのほかのセッションのMP3音声トラックおよびJPEG画像ファイルも再生します。
最初のセッションにCD、ビデオCDフォーマットで記録された音声または画像があるときは、最初のセッションだけを再生します。

ご注意

- 本機では再生できないデータCDもあります。その場合、記録されているMP3音声トラック、JPEG画像ファイルを再生することはできません。

本機で再生できるMP3音声トラックとJPEG画像ファイルについて

本機では次のMP3音声トラックとJPEG画像ファイルを再生できます。

- 拡張子が「.MP3」（MP3音声トラック）、「.JPG」/「.JPEG」（JPEG画像ファイル）のデータ
- DCF*画像ファイルフォーマットに適合したデータ

* JEITA（電子情報技術産業協会）が制定した、デジタルカメラ用画像フォーマット。

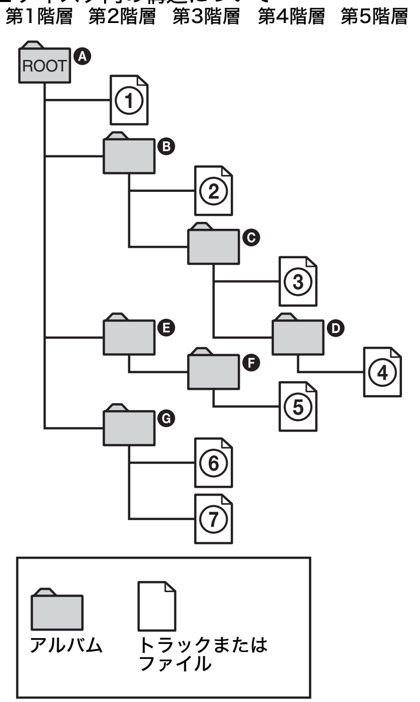
ご注意

- 本機は拡張子が「.MP3」（MP3音声トラック）、「.JPG」/「.JPEG」（JPEG画像ファイル）であれば、MP3音声トラックやJPEG画像ファイルのデータではなくても再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録された音声には対応していません。

MP3音声トラックとJPEG画像ファイルの再生する順番について

データCDに記録されたMP3音声トラックとJPEG画像ファイルは次の順番で再生します。

■ディスク内の構造について



データCDを入れて▷を押すと、図の①から⑦の順に数字のつけられたトラック（またはファイル）を再生します。選択されているアルバムの中のサブアルバム（トラック）は同じ階層の中にある他のアルバムより優先されます（例：Ⓒは Ⓓを含んでいるので、④は⑤よりも前に再生されます）。
メニューボタンを押すと、アルバムの名前リストが表示されます。アルバムの名前はアルファベット順に並びます（Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖ）。トラック（またはファイル）を含まないアルバム（例えばⒺ）は、リストに表示されません。

ディスク再生—いろいろな機能

次のページへつづく

ちょっと一言

- ディスクにトラックやファイルを記録するときは、あらかじめトラックやファイル名の頭に数字(01、02、03など)を入れておくと、その数字の順番に再生することが出来ます。
- ディスクがたくさんの階層で構成されていると、読み込みに時間がかかります。

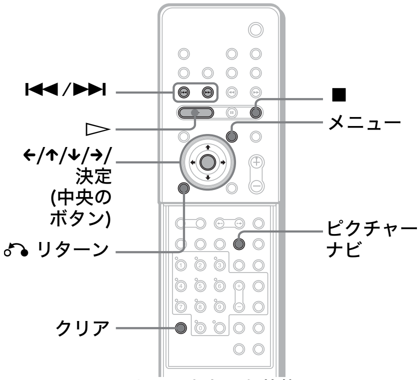
ご注意

- データCDを作成したソフトウェアによっては、イラストの順序で再生されないことがあります。
- アルバム数が200以上、または各アルバムのトラック数およびファイル数の合計が300以上のときは、イラストの順序で再生されないことがあります。
- 本機はディスクに記録された200番目のアルバムまで認識できます。それ以降のアルバムは再生できない場合があります。
- 次のアルバムに進むときや、他のアルバムに移動するときは再生するのに時間がかかる場合があります。

データCDに記録されたMP3音声トラックとJPEG画像ファイルを再生する

DATA-CD

本機ではデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）に記録されたMP3音声トラックとJPEG画像ファイルを再生できます。



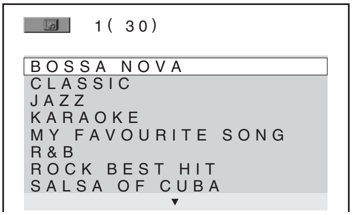
カバーをあけた状態

アルバムを選ぶ

1　データCDを本機に入れる。

2　メニューボタンを押す。

テレビに、データCDに記録されたアルバムのリストが表示されます。
メニューボタンを押すとアルバムのリストを表示させたり消したりできます。



3 **↑/↓ を使って再生したいアルバムを選び、▷ を押す。**

選んだアルバムから再生が始まります。再生されているアルバムのタイトルは影になっています。MP3音声トラックや、JPEG画像ファイルを選んで再生することもできます（77、78ページ）。JPEG画像ファイルのスライドショーについて、詳しくは79ページをご覧ください。

再生を止めるには

■を押します。

前後のページを表示するには

→ または ← を押します。

画面表示を消すには

メニューボタンを押します。

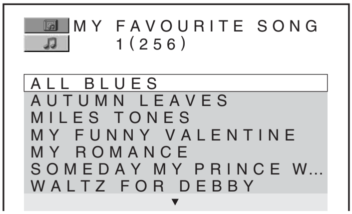
ちょっと一言

- 「音声映像選択モード」（79ページ）を設定して、再生するデータの種類（MP3音声トラックのみ、JPEG画像ファイルのみ、または両方）を選ぶことができます。

MP3音声トラックを選ぶ

1 **「アルバムを選ぶ」（76ページ）の手順2のあとで、↑/↓ を使って再生したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

テレビに、選んだアルバムの中のトラックのリストが表示されます。



2 **↑/↓ を使って再生したいトラックを選び、決定ボタンを押す。**

選んだトラックを再生します。
メニューボタンを押してトラックリストの表示を消すこともできます。
メニューボタンを再び押すとアルバムリストが表示されます。

再生を止めるには

■を押します。

前後のページを表示するには

→ または ← を押します。

前の画面表示に戻るには

↶ リターンを押します。

画面表示を消すには

メニューボタンを押します。

次のページへつづく

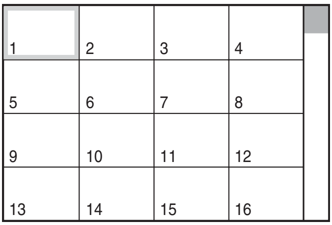
次または前のMP3音声トラックを再生するには

再生中に⏮または⏭を押します。
再生中のアルバムの最後のトラックで⏭を押すと、次のアルバムの最初のトラックを選べます。
⏮で前のアルバムのトラックに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

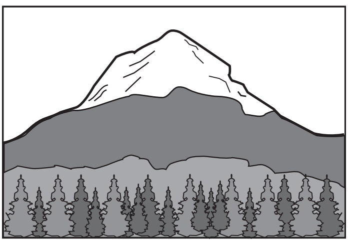
JPEG画像ファイルを選ぶ

1 **「アルバムを選ぶ」（76ページ）の手順2のあとで、↑/↓を使って再生したいアルバムを選び、ピクチャーナビボタンを押す。**

テレビに、選んだアルバムの中の画像が16コマのスクリーンで表示されます。



2 **←/↑/↓/→ を使って表示したい画像を選び、決定ボタンを押す。**

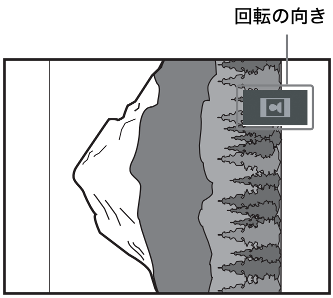


次または前のJPEG画像ファイルを表示するには

再生中に → または ← を押します。再生中 のアルバムの最後のファイルで → を押すと、次のアルバムの最初のファイルを選べます。
← で前のアルバムのファイルに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

JPEG画像ファイルを回転するには

JPEG画像ファイルが画面に表示されているときに、画像を90度回転させることができます。
画像が表示されているときに↑/↓ を押してください。↑ を押すたびごとに、画像は反時計回りに90度ずつ回転します。
↑ を 1 度押したときの例：



通常の画面に戻るにはクリアボタンを押します。

再生を止めるには

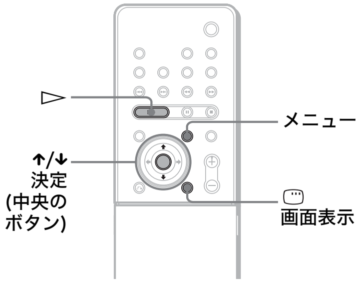
■を押します。

JPEG画像ファイルをスライドショーとして楽しむ

DATA-CD

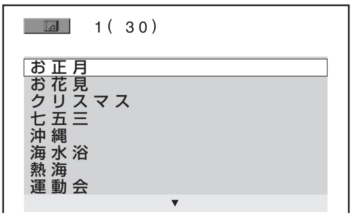
データCDに含まれている JPEG画像ファイルを、スライドショー*として再生することができます。

* スライドショーとは、テレビに複数のJPEG画像ファイルを自動的に切り換えながら表示する機能です。



1 メニューボタンを押す。

データCDに記録されているアルバムの一覧が表示されます。



2 ↑/↓ で再生したいアルバムを選ぶ。

3 ▷ を押す。

選んだアルバムのJPEG画像ファイルのスライドショーが始まります。

再生を止めるには

■を押します。

ご注意

- [音声映像選択モード]が[音声(MP3)]に設定されていると、この機能は使用できません。

スライドショーを音声つきで再生するには

データCDの同じアルバムの中にMP3音声トラックとJPEG画像ファイルを一緒に入れて、スライドショーを楽しめます。

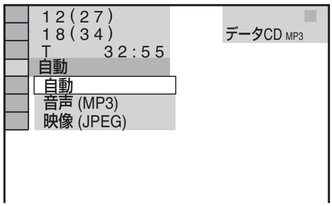
1 データCDを本機に入れる。

2 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓ を使って [音声映像選択モード]を選び、決定ボタンを押す。

[音声映像選択モード]の項目が表示されます。



4 ↑/↓ を使って設定を選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- [<u>自動</u>]：同じアルバムの中にあるJPEG画像ファイルとMP3音声トラックをスライドショーとして再生します。
- [音声（MP3)]：MP3音声トラックのみ続けて再生します。

次のページへつづく

- [映像（JPEG)]：JPEG画像ファイルのみスライドショーとして表示します。

5 メニューボタンを押す。

テレビに、データCDに記録されたアルバムのリストが表示されます。

6 ↑/↓ を使ってアルバムを選び、▷ を押す。

本機は選んだアルバムの再生を始めます。
メニューボタンを押してアルバムリストの表示を表示したり消したりすることができます。

ちょっと一言

- [自動]を選んでいるときは、1枚のアルバムの中で300のMP3音声トラックと300のJPEG画像ファイルを読み込めます。[音声（MP3)]または[映像（JPEG)]を選んでいるときは、１枚のアルバムの中で600のMP3音声トラック、または600のJPEG画像ファイルを読み込めます。設定にかかわらず、最大200アルバムまで読み込めます。

ご注意

- 同じアルバムの中にMP3音声トラックとJPEG画像ファイルを入れないと、音声つきスライドショーはできません。
- [音声（MP3)]を選んでいるときは、ピクチャーナビボタンは使えません。
- 大容量のMP３音声トラックとJPEG画像ファイルを同時に再生しようとすると、音飛びする場合があります。ファイルを作るときには、MP3音声トラックのビットレートを128kbps以下に設定されることをおすすめします。それでも音飛びする場合は、JPEG画像ファイルのデータを小さくしてください。

スライドショーの表示間隔を変えるには

（JPEG画像ファイルのみ）

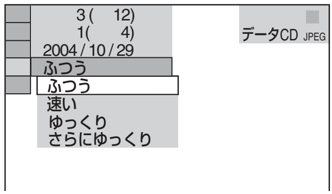
JPEG画像ファイルをスライドショーを使って表示するときに、画像の表示間隔を変えることができます。

1 画面表示ボタンを２回押す。

テレビに、JPEG画像ファイルのコントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ を使って [スライド送り時間]を選び、決定ボタンを押す。

[スライド送り時間]の項目が表示されます。



3 ↑/↓ を使って設定を選ぶ。

お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- [ふつう]：6～9秒の表示間隔です。
- [速い]：[ふつう]よりも表示間隔が短くなります。
- [ゆっくり]：[ふつう]よりも表示間隔が長くなります。
- [さらにゆっくり]：[ゆっくり]よりも表示間隔が長くなります。

4 決定ボタンを押す。

選んだ設定が有効になります。

ご注意

- JPEG画像ファイルによっては、選んだ表示間隔よりも長く時間がかかる場合があります。特に300万ピクセル以上のJPEG画像ファイルを表示する場合に長い時間がかかります。

スライドショーの効果を選ぶ

（JPEG画像ファイルのみ）

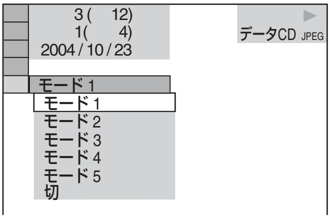
JPEG画像ファイルをスライドショーで表示するときの効果を選べます。

1　画面表示ボタンを２回押す。

テレビに、JPEG画像ファイルのコントロールメニュー画面が表示されます。

2　↑/↓ を使って [スライド効果]を選び、決定ボタンを押す。

[スライド効果]の項目が表示されます。



3　↑/↓ を使って設定を選ぶ。

お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- [<u>モード1</u>]：画像が上から下に向かって表示されます。
- [モード2]：画像が左から右に向かって表示されます。
- [モード3]：画像が画面中央から外側に向かって表示されます。
- [モード4]：ランダムに選ばれたスライド効果が適用されます。
- [モード5]：次の画像が前の画像に重なって表示されます。
- [切]：スライド効果を使いません。

4　決定ボタンを押す。

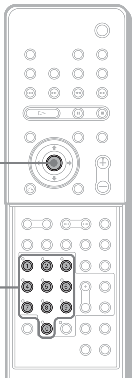
選んだ設定が有効になります。

プレイバックコントロール機能（Ver. 2.0）を使う

（PBC再生）

VIDEO CD

PBC（Playback Control）機能を使って、対話型の操作や検索などができます。
PBC再生とは、テレビに表示される選択用のメニューにしたがって再生を進めていくことです。



カバーをあけた状態

1 PBC対応ビデオCDを再生する。

テレビに、選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタンで選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

4 テレビに表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。

操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻るには

リターンを押す。

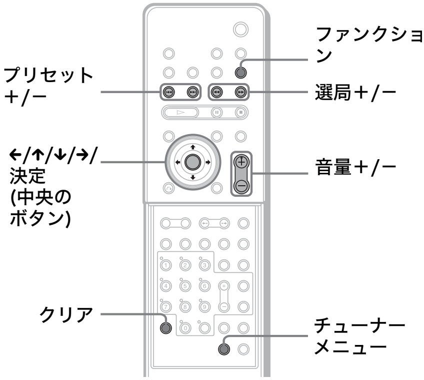
ご注意

- ビデオCDとスーパー VCDのPBC再生時には、プログラム再生、シャッフル再生およびリピート再生はできません。
- ディスクによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは▷を押してください。

ちょっと一言

- PBC機能を使わないで再生するときは、停止中、⏮や⏭、または数字ボタンを押して再生したいトラックを選んでから、▷または決定ボタンを押します。画面上に[PBCを切って再生します]が表示され、通常の再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
  PBC再生に戻すには、■を押して再生を止めたあと、もう1度■を押してから▷を押して再生を始めます。

ラジオを楽しむ



カバーをあけた状態

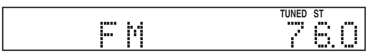
放送局を登録する（プリセット）

放送局を受信して、登録することができます。FM局を20局とAM局を10局、合わせて30局登録できます。
受信を始める前に、音量を最小にしてください。

1 ファンクションボタンを繰り返し押して、FMかAMを本体の表示窓に表示させる。

2 選局＋/－ボタンを押し続け、自動選局が始まったら離す。

周波数表示が変わっていき、放送局を受信すると、選局が自動的に止まります。本体の表示窓に「TUNED」、「ST」（ステレオプログラムのとき）が点灯します。

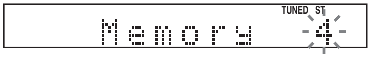


3 チューナーメニューボタンを押す。

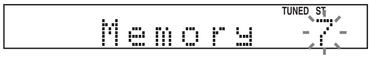
4 ←/↑/↓/→ を繰り返し使って、「Memory?」を本体の表示窓に表示させる。

5 決定ボタンを押す。

プリセット番号が本体の表示窓に表示されます。



6 ←/↑/↓/→を使ってプリセット番号を選ぶ。



7 決定ボタンを押す。

放送局が登録されます。



8 手順1～7を繰り返して、他の放送局を登録する。

プリセット番号を変えるには

手順1から操作をします。

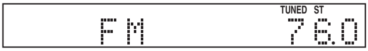
次のページへつづく

ラジオを聞く

前ページの「放送局を登録する（プリセット）」で放送局を登録しておいてください。

1　ファンクションボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「FM」または「AM」を表示させる。

最後に受信した放送局が受信されます。



2　プリセット＋ボタンまたはプリセット－ボタンを繰り返し押して、登録した放送局の中から聞きたい放送局を選ぶ。

ボタンを押すごとに登録した放送局を1局ずつ探していきます。

スピーカーの音量を調節するには

本体のVOLUME+/-か、リモコンの音量+/-ボタンを押します。

ラジオを消す

電源ボタンを押します。

登録していない放送局を聞く

手順2で手動または自動で受信します。
手動受信は、リモコンの選局＋または－を繰り返し押します。
自動受信は、リモコンの選局＋または－を押し続けます。自動受信を止めるときは選局＋または－を押します。

ちょっと一言

- FM放送の受信状態が良くないときは、リモコンのFMモードボタンを押して、本体の表示窓に「MONO」を点灯させます。モノラルになりますが聞きやすくなります。もう一度押すとステレオに戻ります。

登録した放送局に名前を付ける

登録した放送局に名前を付けることができます。これらの名前は、放送局が選択されたときに本体の表示窓に表示されます（「XYZ」など）。
それぞれの登録した局には、ひとつの名前しか登録できません。

1　ファンクションボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「FM」または「AM」を表示させる。

最後に受信した放送局が受信されます。

2　プリセット＋ボタンまたはプリセット－ボタンを繰り返し押して、名前を付けたい放送局を受信する。

3　チューナーメニューボタンを押す。

4　←/↑/↓/→ を使って本体の表示窓に「Name In ?」を表示させる。



5　決定ボタンを押す。

6　カーソルボタンを使って名前を付ける。

↑/↓で文字を選び、→を押してカーソルを次へ動かします。

間違えて入力してしまったら

変更したい文字が点滅するまで、繰り返し←または→を押し、↑/↓で正しい文字を選びます。文字を消すには、←/→を繰り返し押して消したい文字を点滅させ、クリアボタンを押します。

7 決定ボタンを押す。

放送局の名前が登録されます。

本体の表示窓で放送局の名前や周波数を見る

本体の表示窓に放送局名が表示されているとき、下記の操作で周波数を表示させることができます。

本体表示ボタンを押す。

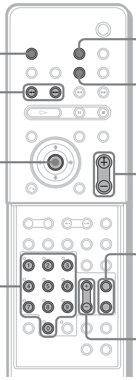
本体表示ボタンを押すたびに、本体の表示窓は次のように切り替わります。

→ 放送局名*1
↓
周波数*2

*1 放送局を登録して、名前をつけていなければ表示されません（84 ページ）。
*2 数秒経過後に元の画面に戻ります。

付属のリモコンでテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビの音量や電源などを操作できます。



カバーをあけた状態

* このボタンを押すとテレビを操作できる「テレビモード」になります。もう一度ボタンを押すと、テレビモードは解除されます。

ご注意

- お買い上げ時は、メーカー番号が001に設定されています。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的に001（ソニー）に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度合わせ直してください。

リモコンで各社のテレビを操作できるように設定する

リモコンのテレビ電源ボタンを押したまま、数字ボタンでテレビのメーカー番号（3桁）を続けて入力し、その後、テレビ電源ボタンをはなす。

メーカー番号が設定されると、リモコンはテレビの電源入/切の信号を送ります。

メーカー番号

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できるものをお選びください。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	001
アイワ	001、007、008
三洋電機	009、010、011
シャープ	020、039、040
東芝	039、046、047、048
日本ビクター	018、019
パイオニア	029、030、031、046、049
日立製作所	002、013、014、015、020、021、027
富士通	055
松下電器	049、050、051
三菱電機	002、021、022
DAEWOO	002、003、004、005、006、027
FUNAI	054
LG/GOLDSTAR	002、020、027、028、038
NEC	002、020、023、024、048
SAMSUNG	002、013、020、027、028、036、037、038

テレビの操作をする

テレビボタンを押すとテレビボタンは点灯し、その間以下のボタンでテレビの操作ができるようになります。

押すボタン	できること
テレビ電源ボタン	テレビの電源を入/切する。
テレビ/ビデオ	テレビの入力を切り換える。
テレビ音量+/-	テレビの音量を調節します。
チャンネル+/-	テレビのチャンネルを選びます。

数字ボタンを使う

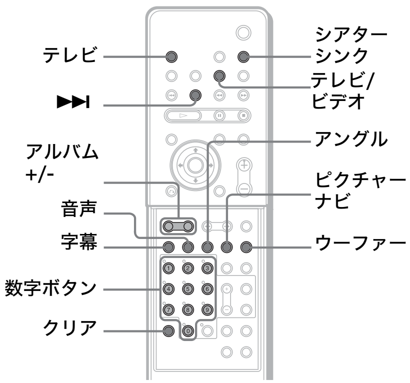
リモコンをテレビモードにすると、数字ボタンでテレビを操作することができます。

ご注意

- テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンを10秒以上操作しないと、テレビボタンは消灯します。

ボタン１つでDVDを見られるようにする（シアターシンク機能）

ソニー製テレビをお使いの場合、シアターシンクボタンを1度押すだけで、テレビの電源を入れ、本機をDVDファンクションにし、テレビの入力を切り換えることができます。



カバーをあけた状態

設定をする

テレビの入力（本機をつないだ入力）を登録します。

テレビ/ビデオボタンを押しながら、数字ボタンを使ってテレビの入力を選ぶ。

次ページの表から、本機をつないでいる入力を選びます。
設定されると、テレビボタンがゆっくり2度点滅します。
設定に失敗するとテレビボタンがすばやく5度点滅します。その場合はもう一度設定をやり直してください。

次のページへつづく

押すボタン、数字ボタン	テレビの入力
0	選びません（初期設定）
1	ビデオ1
2	ビデオ2
3	ビデオ3
4	ビデオ4
5	ビデオ5
6	ビデオ6
7	ビデオ7
8	ビデオ8
9	コンポーネント1入力
クリア	コンポーネント2入力
アルバムー	コンポーネント3入力
アルバム＋	コンポーネント4入力
音声	HDMI1
字幕	HDMI2
アングル	HDMI3
ピクチャーナビ	HDMI4
ウーファー	HDMI5

操作をする

テレビの入力（本機をつないだ入力）を登録します。

テレビと本機にリモコンを向けて、シアターシンクボタンを押す。

リモコンから信号を送信している間は、テレビボタンが点滅します。

機能しない場合は、下記のようにリモコンから信号を送信する時間を変えてみてください。

信号の送信時間を変える

▶▶Iボタンを押しながら、数字ボタンを使って、送信時間を選びます。

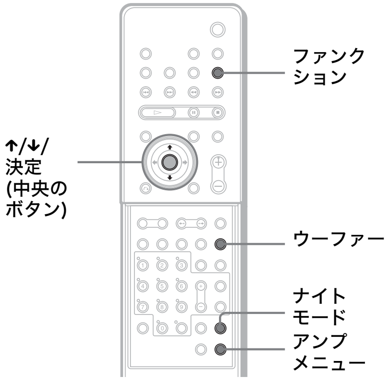
下記の表から、送信時間を選びます。
設定されると、テレビボタンがゆっくり2度点滅します。
設定に失敗するとテレビボタンがすばやく5度点滅します。その場合はもう一度設定をやり直してください。

▶▶Iボタンを押しながら	➡	押す数字ボタン	送信時間
		1	0.5（初期設定）
		2	1
		3	1.5
		4	2
		5	2.5
		6	3
		7	3.5
		8	4

ご注意

- シアターシンク機能は、ソニー製テレビにのみ機能します。（ソニー製テレビでも機能しないモデルもあります。）
- テレビと本機が離れていると、機能しない場合があります。その場合は、テレビと本機を近づけて設置してください。
- テレビボタン点滅中（信号の送信中）は、リモコンをテレビ、本機に向けたままにしておいてください。

サウンド効果を変える



カバーをあけた状態

低音を強化する

すべてのソースで、低音を強化することができます。
サブウーファーのレベルを次のように変更できます。

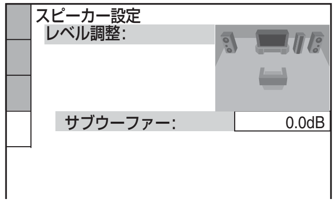
サブウーファー 0.0dB	-6.0dB から+6.0dBの範囲で、1.0dB単位で設定できます。

1 ファンクションを「DVD」にする。

ファンクションが「DVD」でないときは、ファンクションボタンを繰り返し押して本体の表示窓に「DVD」と表示させます。

2 ディスクを再生しているときは、再生を止めてからウーファーボタンを押す。

[スピーカー設定]画面が表示されます。



3 ↑/↓ を使って、サブウーファーのレベルを選び、決定ボタンを押す。

設定が完了します。

小さな音量で聞く

■ナイトモード

夜遅くに映画を観るときでも、劇場のような音響効果や台詞を明瞭に聞き取れるようにします。

ナイトモードボタンを押して、本体の表示窓に「NIGHT ON」を表示させる。

■AUDIO DRC（Audio Dynamic Range Compression）

音声のダイナミックレンジ(最大音量から最小音量までの幅)を狭くします。小さな音量で映画を見たいときに効果的です。

1 アンプメニューボタンを押す。
2 ↑/↓ を繰り返し押して「AUDIO DRC」を本体の表示窓に表示させ、決定ボタンまたは → を押す。
3 ↑/↓ を使って設定を選ぶ。
 • [DRC OFF]：信号の幅は圧縮されません。
 • [DRC STD]：ソフト制作者が意図したようなダイナミックレンジで音声を再現します。
 • [DRC MAX]：信号の幅を最大限に圧縮します。
4 決定ボタンまたはアンプメニューボタンを押す。
 アンプメニュー画面表示が消えます。

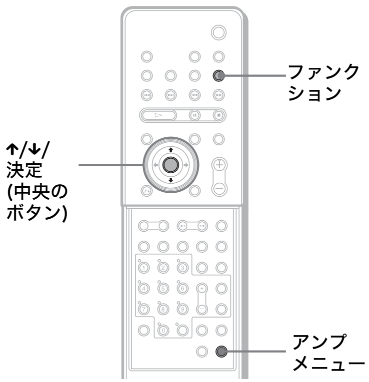
ご注意

• AUDIO DRCはドルビーデジタルのソースにのみ対応します。

デジタル放送用の音声（AAC）を楽しむ

AACとは、BSデジタル放送や地上波デジタル放送で採用されている音声方式です。AACでは5.1 chのサラウンド放送や2ヶ国語放送にも対応しています。

BSデジタル放送などのAAC音声を聞くには、テレビなどデジタルチューナー搭載機器と本機を、光デジタルコード（別売り）もしくは同軸デジタルコード（別売り）で接続してください（32ページ）。
また、テレビなどデジタルチューナー搭載機器側でも 「光デジタル音声出力設定」などで設定を行う必要があります。デジタルチューナー搭載機器が、デジタル出力端子からAAC音声信号を出力するように設定してください。詳しくは、デジタルチューナー搭載機器の取扱説明書をご確認ください。
以上が確認された上で、下記の操作を行ってください。



カバーをあけた状態

AACの音声を聞く

ファンクションボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「TV」を表示させる。

AAC音声信号を認識すると、本体の表示窓に「AAC」が点灯しAAC音声を聞くことができます。

ご注意

- 32ページの接続で、ステレオ音声コード（別売り）での接続では、AAC音声は楽しめません。
- AAC音声では、フロントサラウンドの効果は落ちます。

2ヶ国語放送の音声を切り換える

AACが2ヶ国語放送の場合、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 アンプメニューボタンを押す。

2 ↑/↓ を使って本体の表示窓に「DUAL MONO」を表示させてから決定ボタンまたは → を押す。

3 ↑/↓ を使って本体の表示窓にお好みの設定を表示させる。

- [MAIN]（主音声）
  左右のスピーカーから主音声のみを再生します。
- [SUB]（副音声）
  左右のスピーカーから副音声のみを再生します。
- [MAIN+SUB]（主＋副）
  左右のスピーカーから主音声と副音声が合成された音声を再生します。

- [MAIN/SUB]（主/副）
  左スピーカーから主音声、右スピーカーから副音声を同時に再生します。

4 決定ボタンまたはアンプメニューボタンを押す。

アンプメニューを終了します。

ご注意

- HDMI音声出力を使用しているときは、本機はアンプメニューの「DUAL MONO」設定にかかわらず、「MAIN」の音声を常に出力します。

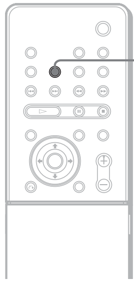
ちょっと一言

- DVD-RWにVRモードで記録された2ヶ国語放送も、この設定で楽しむことができます。

スリープタイマーを使う

音楽などを聞きながらお休みになるとき、設定した時間に本体の電源を切ることができます。

時間は10分間隔で設定することができます。



スリープボタンを押す。

スリープボタンを押すごとに、設定時間が変わり、本体の表示窓に表示されます。

SLEEP 90M（90分）
↓
SLEEP 80M（80分）
↓
⋮
SLEEP 10M（10分）
↓
SLEEP OFF

設定時間を確認する

スリープボタンを一度押します。

経過時間を変える

スリープボタンを繰り返し押して希望の設定時間に変更します。

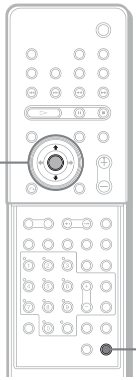
スリープタイマー機能を解除する

スリープボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「SLEEP OFF」を表示させます。

その他の機能

本体表示の明るさを調節する

本体の表示窓の明るさを2段階で調節することができます。



1 アンプメニューボタンを押す。

2 ↑/↓ を使って本体の表示窓に「DIMMER」を表示させてから決定ボタンまたは→を押す。

3 ↑/↓ を使って本体の表示窓の明るさを選ぶ。

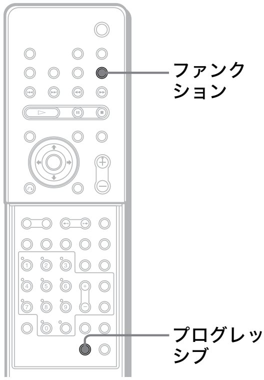
- [DIMMER OFF]：通常状態
- [DIMMER ON]：本体の表示窓の明るさは暗くなり、サウンドフィールドインジケーターが消える。

4 決定ボタンまたはアンプメニューボタンを押す。

アンプメニューを終了します。

映像をプログレッシブ信号で出力する

お使いのテレビがプログレッシブ信号に対応している場合は、以下の設定で高画質な映像を楽しむことができます。



カバーをあけた状態

本機がプログレッシブ信号を出力しているときは、本体の表示窓に「PROGRE」が点灯されます。

1 ファンクションボタンを繰り返し押して、本体の表示窓に「DVD」と表示させ、テレビの入力切り換えをD端子に接続した入力に切り換える。

2 プログレッシブボタンを押す。

プログレッシブボタンを押すたびに、本体の表示窓に次のように表示されます。（お買い上げ時は、INTERLACE（インターレース）に設定されています）。

P AUTO（プログレッシブ　オート）
↓
P VIDEO（プログレッシブ　ビデオ）
↓
INTERLACE（インターレース）

■ P AUTO（プログレッシブ　オート）

この設定は、下記のいずれの条件も満たしている場合に選びます。

ーお使いのテレビがプログレッシブ信号に対応している。

ー本体のD2映像出力端子につながれている。

本機が自動的に映像素材の種類を検出し、適切なプログレッシブ変換方法を選択します。上記の条件を満たしていない場合にこの設定を選ぶと、映像が乱れたり、映像が画面に表れない場合があります。

■ P VIDEO（プログレッシブ　ビデオ）

この設定は、下記のいずれの条件も満たしている場合に選びます。

ーお使いのテレビがプログレッシブ信号に対応している。

ー本体のD2映像出力端子につながれている。

ープログレッシブ信号への変換方法を、ビデオ素材用に固定したいとき。

P AUTOに設定して画面が乱れた場合は、この設定にしてください。上記の条件を満たしていない場合は、この設定を選んでも映像が乱れたり、映像が画面に表れない場合があります。その場合は、次のINTERLACEを選んでください。

■ INTERLACE（インターレース）

この設定は、下記の場合に選びます。

ーお使いのテレビがプログレッシブ信号に対応していない。

ー本体の映像/S映像出力端子につながれている。

次のページへつづく

DVDの素材と表示方式について

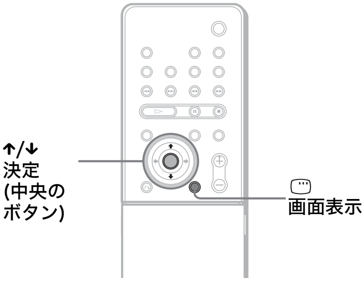
DVDの映像素材には、ビデオ素材とフィルム素材の2種類があります。ビデオ素材は、1秒30フレーム、60フィールドでDVDに記録されたもので、一般的にテレビドラマやテレビアニメーションなどの番組があります。フィルム素材は、1秒24コマでDVDに記録されたもので、映画フィルムの多くがこれにあたります。
DVDの中には、ビデオ素材とフィルム素材の両方が記録されているものがあります。これらの映像をより自然な画質でお楽しみいただくには、映像素材に合わせた方法でプログレッシブ信号に変換する必要があります。

設定画面を使う

DVDファンクション時、テレビに表示される設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。設定画面の項目の一覧は118ページをご覧ください。

ご注意

- あらかじめ再生条件が設定されているディスクがあります。その場合はディスクに記録されている情報が有効になります。

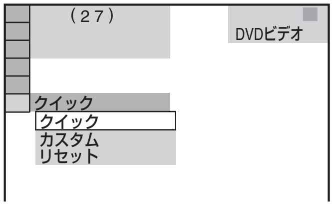


1 ディスクを再生しているときは、再生を止めてから 画面表示ボタンを押す。

テレビに、コントロールメニュー画面が表示されます。

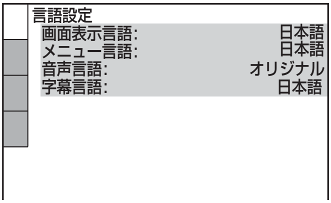
2 ↑/↓ を使って [設定]を選び、決定ボタンを押す。

[設定]の選択項目が表示されます。



3 ↑/↓ を使って[カスタム]を選び、決定ボタンを押す。

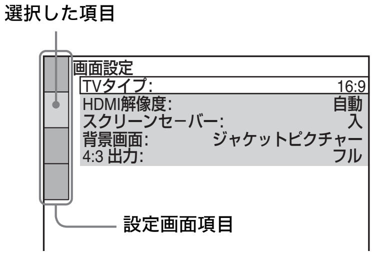
設定画面が表示されます。



4 ↑/↓ を使って[言語設定]、[画面設定]、[視聴設定]、[スピーカー設定]の中から設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

選択した項目の画面が表示されます。

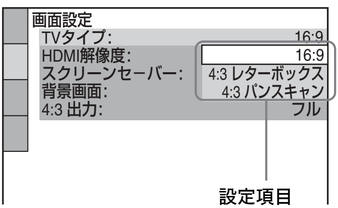
例：[画面設定]



5 ↑/↓ を使って項目を選び、決定ボタンを押す。

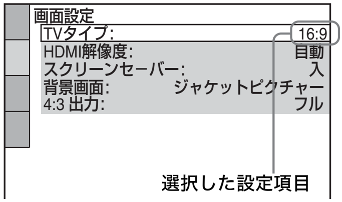
項目の設定項目が一覧表示されます。

例：[TVタイプ]



6 ↑/↓ を使って設定項目を選び、決定ボタンを押す。

設定項目が選ばれ、設定が終了します。

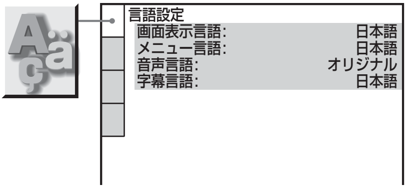


表示言語や音声言語の設定をする

（言語設定）

画面や音声の言語を設定することができます。

設定画面で[言語設定]を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（94ページ）をご覧ください。



■ 画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

■ メニュー言語（DVDビデオのみ）

メニューの言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

■ 音声言語（DVDビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。
[オリジナル]を選んだときは、ディスクで優先されている言語が選ばれます。

■ 字幕言語（DVDビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。
[音声連動]を選んだときは、字幕言語は、音声の言語に合わせて切り換わります。

ちょっと一言

- [メニュー言語]、[音声言語]、[字幕言語]で[その他→]を選んだときは、言語コード一覧表（112ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。

ご注意

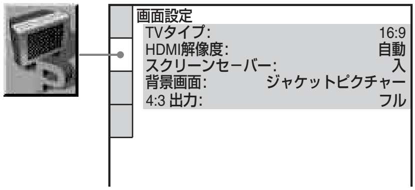
- [メニュー言語]、[音声言語]、[字幕言語]で選んだ言語がDVDビデオに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

画像に関する設定をする

（画面設定）

つないだテレビに合わせて画像に関する設定ができます。お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

設定画面で[画面設定]を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（94ページ）をご覧ください。

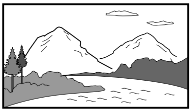


■ TVタイプ

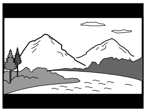
つないだテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは4：3画面テレビ）を設定します。

<u>16:9</u>	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。
4:3 レターボックス	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
4:3 パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

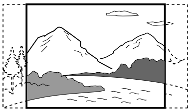
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

- DVDによっては[4:3レターボックス]あるいは[4:3パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

■HDMI解像度

HDMI 出力端子から出力される映像信号の種類を選びます。[自動](お買い上げ時の設定)に設定すると、つないだテレビが受け取ることができる最高の解像度で出力します。もし映像が鮮明でない場合は、お使いのテレビやプロジェクターなどに合うほかの設定に変えてください。詳しくは、テレビやプロジェクターなどに付属の取扱説明書もご覧ください。

自動	通常はこの設定にします。
1920 × 1080i	1125i(1080i)の映像信号を出力します。
1280 × 720p	750p(720p)の映像信号を出力します。
720 × 480p	525p(480p)の映像信号を出力します。
720 × 480i	525i(480i)の映像信号を出力します。

上の表の中で、iはインターレース、pはプログレッシブの略称です。カッコ内の数字は、有効走査線数で数えたときの別称です。

ご注意

- [自動]以外の設定を選んでいて、お使いのテレビがその解像度を受けられなかったときは、本機はテレビが信号を受けられるように自動的に調節します。

■スクリーンセーバー

本機を操作しない状態で15分以上経過すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。▷ を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

入	スクリーンセーバーを使います。
切	スクリーンセーバーを使いません。

■背景画面

停止中やCD、スーパーオーディオCD、データCD（MP3音声トラック）再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

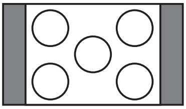
ジャケットピクチャー	ディスク（CD-EXTRAなど）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を背景画面にします。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示されます。
グラフィックス	あらかじめ本機に記録されているグラフィックピクチャーを背景画面にします。
青	画面の背景色を「青」にします。
黒	画面の背景色を「黒」にします。

■4:3出力

縦横比の設定を変えることができない16:9のプログレッシブ対応テレビなどで、縦横比4:3のプログレッシブ信号が正しい縦横比で表示されないときに、設定することができます。テレビで縦横比を変えることができるときは、本機ではなくテレビ側で設定を変更してください。
この設定は、[画面設定]で[TVタイプ]を[16:9]に設定したときに有効です。

次のページへつづく

フル	お使いのテレビで縦横比が変えられるときに選んでください。
ノーマル	お使いのテレビで縦横比が変えられないときに選んでください。16:9の縦横比で、画像の左右に黒い帯がある状態で映し出されます。



縦横比16:9のテレビ画面

ご注意

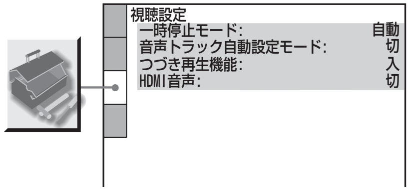
- この設定はHDMI出力端子からの出力と、D2映像出力端子からのプログレッシブ出力（93ページ）に対してのみ有効です。
- この設定はHDMI 出力端子を使って接続し、[HDMI解像度]で[720 × 480i]を選んでいるときは無効です。

視聴に関する設定をする

（視聴設定）

再生などに関する設定ができます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

設定画面で[視聴設定]を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（94ページ）をご覧ください。



■ 一時停止モード（DVDビデオ、DVD-RWのみ）

一時停止中の画像を選びます。

自動	大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られます。通常はこの設定にします。
フレーム	動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られます。

■ 音声トラック自動選定モード（DVDビデオのみ）

複数の音声記録方式が用意されているDVDビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、DTS、ドルビーデジタル）を優先して再生できます。

切	優先しません。
入	優先します。

ご注意

- この設定を[入]にすると、言語が切り換わることがあります。これは[音声トラック自動選定モード]の設定が[言語設定]の「音声言語」（96ページ）より優先されるためです。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。

■つづき再生機能（DVDビデオ、ビデオCDのみ）

つづき再生機能の入/切を切り換えます。つづき再生したいポイントを40枚のDVDビデオ、ビデオCDまで記録できます（57ページ）。

入	つづき再生するポイントを40枚まで記録します。
切	つづき再生を記録しません。現在本機で再生しているディスクのみ続き再生をします。

■HDMI音声

HDMI 出力端子から出力される音声信号のタイプを選びます。

切	HDMI 出力端子から音声は出力されません。
自動	テレビで受けられる最適な音声信号を出力します。
PCM	ドルビーデジタル、DTS、または96kHz/24bit PCM信号を48kHz/16 bit PCMに変換します。

ご注意

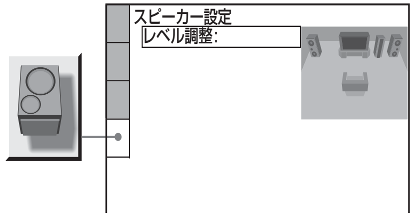
- ドルビーデジタルやDTSに対応していないテレビにつないで、[自動]が選択されているときは、大音量が出ることがあります（または音が出ません）。その場合は[PCM]を選んでください。

サブウーファーの設定をする

（スピーカー設定）

低音を強調したり弱めたりするために、サブウーファーのレベルを設定することができます。

設定画面で[スピーカー設定]を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（94ページ）をご覧ください。
お買い上げ時の設定は下線の項目です。



■レベル

サブウーファーのレベルを次のように変更できます。

サブウーファー 0.0dB	-6.0dB から+6.0dBの範囲で、1.0dB単位で設定できます。

ちょっと一言

- 停止中にリモコンのウーファーボタンを押しても、テレビに[スピーカー設定]画面を表示できます（89ページ）。

設定項目をお買い上げ時の設定に戻す

設定画面での設定をお買い上げ時の設定に戻す

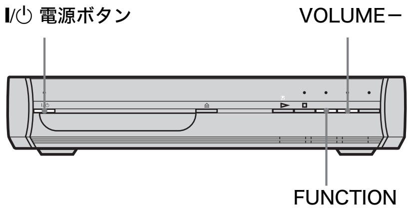
1 「設定画面を使う」（94ページ）の手順2で[リセット]を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓ を使って[はい]を選ぶ。
ここで[いいえ]を選び、このリセットの作業をやめてコントロールメニュー画面に戻ることもできます。

3 決定ボタンを押す。
94〜99ページで説明する設定がすべてお買い上げ時の設定に戻ります*。リセットが完了するのに数秒かかります。リセットしている間はI/⏻ 電源ボタンを押さないでください。

* 視聴制限設定を除く。

サウンドフィールドやラジオなどの設定をお買い上げ時の設定に戻す



1 I/⏻ 電源ボタンを押して本体の電源を入れる。

2 FUNCTION、VOLUME－の順にこの2つのボタンを押しながら、I/⏻ 電源ボタンを押す。
表示窓に「COLD RESET」が表示され、設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

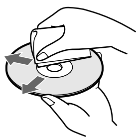
- 再生面に手を触れないように持ちます。

保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

本体の表示窓に「PROTECT」や「UNPLUG」が表示される。

→ すぐに電源コードをコンセントから抜いて以下の項目を確認する。
- 付属のスピーカーを使っているか？
- 本体の通気孔がふさがっていないか？

上記の項目を点検し、もう一度電源コードをつなぎ電源を入れる。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターに問い合わせる。

映像

映像が出ない。

→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
→ S映像コード(別売り)を使って本機のS映像出力端子につなぐときは、お使いのテレビ側でもS映像入力端子につなぐ（23ページ）。
→ D映像コード(別売り)を使って本機のD2映像出力端子につなぐときは、お使いのテレビ側でもD映像入力端子につなぐ（23ページ）。
→ 映像コードが断線している。
→ テレビの入力端子を間違えている（23ページ）。

次のページへつづく

→ テレビの入力切り換えで本機の映像が映るように切り換えていない。
→ プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、プログレッシブ設定にすると画像が乱れる。その場合は、インターレース(お買い上げ時の設定)にする（93ページ）。
→ HDMIでつなぐ場合、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）に対応していない機器に本機をつないでいる（本体の表示窓に「HDMI」が点灯していない）（114ページ）。
→ HDMIでつなぐ場合、[画面設定]の[HDMI解像度]の設定を確認する（96ページ）。
→ DVDファンクション時（ファンクションボタンで「DVD」を選んでいる状態）のみ、D2映像出力端子からは映像信号を出力し、HDMI出力端子からは映像/音声信号が出力される。
→ HDMIでつなぐとき、テレビによってはHDMI入力を有効にしなければならない場合がある。テレビの設定を確認する。

映像が乱れる。
→ ディスクに汚れや傷がある。
→ プログレッシブ方式に対応しているテレビでも、プログレッシブに設定すると画像が乱れる場合がある。その場合は、インターレース(お買い上げ時の設定)にする（93ページ）。
→ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。本機をテレビに直接接続する（23、34ページ）。
→ 本機が安定した場所に設置されているか確認する。

設定画面の[画面設定]の[TVタイプ]で設定した画像の形で再生できない。
→ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

テレビ画面に色むらが起きる。
→ 本機のサブウーファーとフロントスピーカーは磁気モレを防ぐ防磁カバーを採用しているが強力なマグネットのため、若干の磁気モレが生じる。色むらが起きた場合は、以下の項目を確認する。
- ブラウン管タイプのテレビやプロジェクターと一緒に使用する場合は十分に（約30ｃｍ）離す。
- それでも色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れる。
- ハウリングが生じたら、スピーカーをテレビより離して置く。
- スピーカーの近くに磁気を発生するものがないように注意する。スピーカーとの相互作用により、色むらを起す場合がある。磁気を発生するもの：ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

音声

音が出ない。
→ スピーカーコードと本体がしっかり差し込まれていない。（16ページ）
→「MUTING ON」と表示されている場合は、リモコンの消音ボタンを押す。
→ 一時停止、スロー再生になっているときは、▷を押して通常の再生に戻す。
→ 早送り、早戻しになっているときは、▷を押して通常の再生に戻す。
→ スピーカーが正しく接続されているか確認する（16ページ）。
→ つないだ他の機器の音声が出ないときは、その機器の音声出力の設定を確認する。

HDMI 出力端子から音が出ない。
→ 本機のHDMI 出力端子をDVI(Digital visual interface)デバイスを持った機器につなぐと、音声は出力されない。
→ 本機のHDMI 出力端子につないだ機器が、音声信号を認識していない。このときは、[視聴設定]の[HDMI音声]を[PCM]に設定する（98ページ）。
→ 本機のHDMI 出力端子はスーパーオーディオCDの音声は出力しない。
→ お買い上げ時の設定は、HDMI音声出力が[切]になっている（99ページ）。

左右のスピーカーのバランスが悪い、または音声が逆になっている。

➔ スピーカーやつないだそのほかの機器が正しく接続されているか確認する。
➔ スピーカーの設置を確認する（16、28ページ）。

サブウーファーから音が出ない。

➔ スピーカーの接続と設定を確認する（16ページ）。

ハム音またはノイズがひどい。

➔ スピーカーおよび各機器が正しく接続されているか確認する。
➔ プラグや端子が汚れている。アルコールで少し湿らせた布で拭き取る。
➔ ディスクに汚れ、傷がある。

ビデオCD、CD、データCD（MP3音声トラック）を再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる。

➔ 音声ボタンを押して、[音声言語]を[ステレオ]にする（62ページ）。
➔ スピーカーおよび各機器が正しく接続されているか確認する。

サラウンド効果が得られない。

➔ サウンドフィールドが「FOCUS SURROUND」(フォーカスサラウンド)、または「WIDE SURROUND」(ワイドサラウンド)に設定されているか確認する（45ページ）。
➔ スピーカーの接続と配置を確認する（16、28ページ）。
➔ マルチチャンネル信号ではなく、モノラル、ステレオの信号を再生している。
➔ HDMIから出力される音声にはサラウンド効果は得られない。
➔ AACの音声ではフロントサラウンドの効果は落ちる。

操作

放送局が受信できない。

➔ アンテナが正しく接続されているか確認する。
アンテナの向きを調節したり、屋外アンテナを使用したりする。
➔ 自動受信をしている場合に受信状態が悪いときは、手動受信する。
➔ プリセットチューニングしている場合、何も登録していない、または登録した放送局を消してしまった。その場合は登録する（83ページ）。
➔ 受信している周波数を確認する。

リモコンで操作できない。

➔ リモコンと本体との間に障害物がある。
➔ リモコンと本体との距離が離れている。
➔ 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。
➔ リモコンの電池が消耗している。

再生が始まらない。

➔ ディスクが入っていない。
➔ ディスクが裏返しに入っている。
再生面を下にする。
➔ ディスクが斜めにずれて入っている。
➔ CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（10ページ）。
➔ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。
➔ 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再び電源を入れ直してから再生を始める。
➔ 規格から外れた一部ディスクは、本機では再生できない場合がある。
ある特定のディスクが再生できない場合は、裏表紙に書かれている「ソニーお客様ご相談センター」まで問い合わせる。

MP3音声トラックが再生できない。

➔ ISO9660 レベル1/レベル2、またはその拡張フォーマット/Joliet に準拠していないMP3 音声トラックが記録されている。
➔ 拡張子が「.MP3」になっていない。
➔ 拡張子は「.MP3」だが、MP3音声トラック以外のデータ形式になっている。
➔ 本機は MP3PROで記録された音声は再生できない。
➔ [音声映像選択モード]が[映像（JPEG)]に設定されている（79ページ）。

JPEG画像ファイルが再生できない。

➔ ISO9660レベル1/レベル2、またはその拡張フォーマット/Jolietに準拠していないJPEG画像ファイルが記録されている。

次のページへつづく

- ➔ 拡張子が「.JPG」または「.JPEG」になっていない。
- ➔ 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」だが、JPEG画像ファイル以外のデータ形式になっている。
- ➔ 縦3,072×横2,048ドット以上、または330万画素を超えるJPEG画像ファイルは表示できない。
- ➔ 画面に正しく表示されない（画面にあうように調整されて表示される）。
- ➔ [音声映像選択モード]設定が[音声（MP3)]になっている（79ページ）。

MP3音声トラックとJPEG画像ファイルの再生が同時に始まる。
- ➔ [音声映像選択モード]設定で[自動]が選択されている（79ページ）。

JPEG画像ファイルのアルバム／ファイル名が正しく表示されない。
- ➔ 本機で表示できる文字はアルファベットと数字のみ。それ以外の文字は「*」と表示される。

再生がディスクの最初から始まらない。
- ➔ プログラムまたはシャッフル、リピート再生になっている。ディスクを再生する前にクリアボタンを押してこれらの機能を解除する。
- ➔ リジューム再生になっている。停止中に、本体またはリモコンの■（停止）ボタンを押してから再生を始める（56ページ）。
- ➔ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が表示されるディスクを入れている。

再生が自動的に始まる。
- ➔ 自動的に再生が始まるDVDを入れている。

再生が自動的に止まる。
- ➔ ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

ストップ、サーチ、スロー、リピート再生などの操作ができない。
- ➔ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて確認する。

希望する言語で画面表示されない。
- ➔ 設定画面の[言語設定]の[画面表示言語]で希望の言語を選ぶ（96ページ）。

音声言語を変更できない。
- ➔ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- ➔ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。

字幕を変更できない。
- ➔ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- ➔ 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。

字幕を消すことができない。
- ➔ 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

アングルを変更して見ることができない。
- ➔ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない（67ページ）。
- ➔ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

ディスクを取り出すことができず、表示窓に「LOCKED」と表示される。
- ➔ お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターに問い合わせる。

データCDを再生中に、テレビ画面に[データエラー（AUDIO）]または[データエラー（IMAGE）]と表示される。
- ➔ 再生しようとしているMP3音声トラック、またはJPEG画像ファイルが壊れている。
- ➔ データがMPEG1 Audio Layer 3でない。
- ➔ JPEG画像ファイルがDCFフォーマットでない。
- ➔ 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」だが、JPEG画像ファイル以外のデータ形式になっている。

本機が正常に作動しない。
- ➔ 正常に作動しなくなったときは、電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、再び電源を入れる。

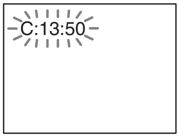
本体の表示窓に「DEMO PLAY」と表示される。

→ お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターに問い合わせる。

自己診断機能

（本体の表示窓に文字や数字が表れたとき）

本機を故障から守るために、本機には自己診断機能がついています。本体の表示窓に、「C 13 50」のような5文字のサービスナンバーが現れたときは、以下の項目を確認してください。



サービスナンバーの最初の3文字	原因と対応
C13	ディスクが汚れている → 柔らかい布でディスクを拭く（101ページ）。
C31	ディスクが正しく入っていない。 → 本体の電源を切り、再び入れた後にディスクを正しく入れなおす。
E XX （XXは数字）	故障を防ぐために、自己診断機能が働いている。 → お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターに問い合わせる。そのときは、5つのサービスナンバーを知らせる。 例：E 61 10

次のページへつづく

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、DVDホームシアターシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DAV-X1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 故障したときに再生していたディスク：
- つないでいるテレビやその他の機器のメーカー名と型番：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

アンプ部

フロントト部　出力（定格）：40W＋40W
（6Ω、１kHz、THD１%）
出力（参考）：50W＋50W
（6Ω　1kHz、THD10%）

フロントサラウンド部*
出力(定格)：40W＋40W
（6Ω、１kHz、THD1%）
出力（参考）：50W＋50W
（6Ω　1kHz、THD10%）

サブウーファー部
出力(定格)：40W＋40W
（6Ω、100Hz、THD１%）
出力（参考）：50W＋50W
（6Ω 100Hz、THD10%）

＊ ソースによっては出力しない場合があります。

入力（アナログ）

VIDEO/SAT 2
感度：250/450mＶ RMS
インピーダンス：50ｋΩ

TV/SAT 1、MD
感度：450mＶ RMS
インピーダンス：50ｋΩ

入力（デジタル）

TV/SAT 1、VIDEO/SAT 2、MD
インピーダンス：75Ω

スーパーオーディオCD、DVD部

レーザー	半導体レーザー (DVD : λ＝650nm) (CD : λ＝790nm) 放出持続時間：連続
信号方式	JEITA標準*、NTSCカラー方式

＊ JEITA（電子情報技術産業協会）

チューナー部

回路方式	PLLデジタル周波数シンセサイザー クォーツロック方式
FMチューナー部	
受信周波数	76.0－90.0MHz (100kHz間隔)
アンテナ	ワイヤーアンテナ 75Ω、不平衡型
中間周波数	FM：10.7MHz
AMチューナー部	
受信周波数	531－1,602kHz（9kHz間隔）
アンテナ	ループアンテナ
中間周波数	450kHz

映像部

出力	映像：1Vp-p 75Ω S 映像：Y: 1Vp-p 75Ω C: 0.286Vp-p, 75Ω D2 映像： Y: 1Vp-p、CB, CR: 0.7Vp-p 75Ω
入力	映像：1Vp-p 75Ω S 映像：Y: 1Vp-p 75Ω C: 0.286Vp-p, 75Ω

スピーカー

フロント

方式	バスレフ型、防磁
形状	コーン型 50mm×2
定格インピーダンス	6Ω
最大外形寸法	162×78×134mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約0.7kg

サブウーファー

方式	バスレフ型、防磁
形状	コーン型、150mm×2
定格インピーダンス	6Ω
最大外形寸法	205×362×489mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約9.8kg

本体

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	電源が入っているとき：70W スタンバイモードのとき：0.3W
最大外形寸法	380×76×293mm（幅/高さ/奥行き）(突起部分を含む)
質量	約4.6kg

付属品

13ページをご覧ください。

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません
- スピーカー外装に非塩ビ系素材を使用

用語解説

アルバム

MP3音声トラックやJPEG画像ファイルを記録しているデータCDの中の単位の1つです。

インターレース（飛び越し走査）

通常のテレビ放送のNTSC 方式では、1秒間に30枚の画像を次々に映し出すことで動画を再現している。1枚画像を走査線の奇数、偶数で2回に分けて、見かけ上1秒間に60枚の画像を映し出す。従来のテレビの表示方式。

視聴制限

国ごとの規制レベルに合わせて、視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDビデオの機能。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

シーン

PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。

タイトル

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

地域番号（リージョンコード）

著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、プレーヤー本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。プレーヤーとディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL 表示のあるディスクは、どのプレーヤーでも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。サラウンドチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ドルビープロロジックII
ドルビープロロジックIIは2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生する。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダである。

ビデオCD
動画の記録されているCD。
ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」（エムペグ1）を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。
また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。
ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC（プレイバックコントロール）機能を持ったバージョン2.0がある。

ビデオ素材、フィルム素材
DVD の映像素材の種類。ビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどのテレビ放送された番組（1秒30フレーム、60フィールド）をDVD に記録したもの。フィルム素材とは映画フィルム（1秒24コマ）をDVD に記録したもの。

ファイル
JPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つです。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめる。

プログレッシブ（順次走査）
通常のテレビ放送のNTSCインターレース方式では、1秒間に30枚の画像を次々に映し出すことで動画を再現し、1枚の画像を走査線の奇数、偶数で2回に分けて、見かけ上1秒間に60枚の画像を映し出す。これに対してプログレッシブ方式の場合は、走査線を飛び越すことなく、NTSCで言えば525本の走査線を使って、1秒間に60枚の画像を映し出す。細かな文字や横線などの多い場面などで高画質な映像を再現できる。

マルチアングル
DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていること。

マルチランゲージ
DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

次のページへつづく

AAC

BSデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式。「アドバンスド・オーディオ・コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現する。

D2映像信号

D端子付きデジタルテレビなどと1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できる。コンポーネント信号でつなぐため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3とD4端子がある。本機にはD2映像出力端子（525i(480i)、525p(480p)の信号に対応*）が付いており、D1、D2、D3およびD4端子付きデジタルテレビなどに対応している 。

* iはインターレースの略。pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。サラウンドチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。

全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVD

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB（Gigaギガ Byteバイト）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2（エムペグ）」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。

また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタル、DTSを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DVD-RW

DVD-RWとは、DVDビデオと同じサイズで、データの記録、書き換えが可能なディスク。DVD-RWにはVRモードとビデオモードの2つのモードがある。ビデオモードで作られたDVD-RWはDVDビデオと同じフォーマットなのに対して、VRモードで作られたDVD-RWはプログラム、または編集が可能なディスクとなっている。

DVD+RW

DVD+RWとは、データの記録、書き換えが可能なディスクで、DVDビデオと同程度の記録方式を使っている。

HDMI

HDMIでは、1本のデジタルケーブルで、映像、音声の両方をつなぐことができる。

HDMI接続をすれば、高画質の映像と、マルチチャンネル音声の信号を、HDMIに対応したAV機器(テレビなど)にデジタルの信号を送ることができる。映像信号が現在のDVIに対応していれば、HDMI-DVI変換コードを使ってHDMI 出力端子とDVI端子をつなぐことが可能。HDMIはHDCP著作権保護機能に対応しており、デジタル画像信号コーディングテクノロジーを採用している。

S-Force PRO Front Surround

ソニーがこれまで蓄積してきた膨大な音響データを解析し、独自のDSP技術を加えて開発したフロントサラウンドの技術。音像の距離感、空間性をより忠実に再現することが可能となり、後方にスピーカーを置くことなく、前方のスピーカーだけで広がりのあるサラウンドを楽しむことができる。

S-Master

ソニーが独自に開発したデジタルアンプ技術。従来のアナログアンプに比べ、原理的にゼロクロス歪みが発生しない点をはじめ、高効率で発熱が少ないため、小型化が容易であるなど、数々の特徴を備えている。

言語コード一覧表

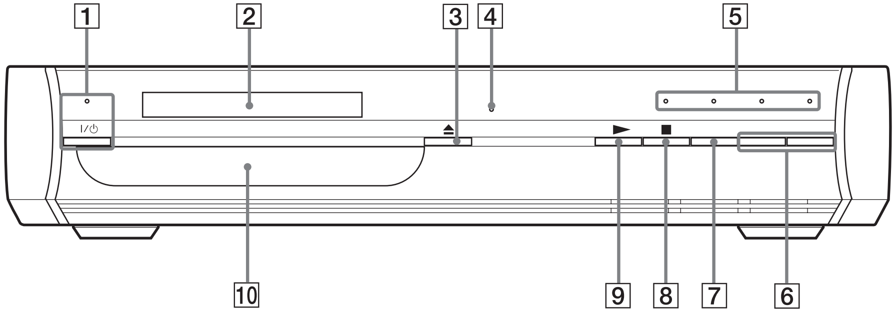
言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

Code	Language	Code	Language	Code	Language
1027	Afar	1245	Inupiak	1489	Russian
1028	Abkhazian	1248	Indonesian	1491	Kinyarwanda
1032	Afrikaans	1253	Icelandic	1495	Sanskrit
1039	Amharic	1254	Italian	1498	Sindhi
1044	Arabic	1257	Hebrew	1501	Sangho
1045	Assamese	1261	Japanese	1502	Serbo-Croatian
1051	Aymara	1269	Yiddish	1503	Singhalese
1052	Azerbaijani	1283	Javanese	1505	Slovak
1053	Bashkir	1287	Georgian	1506	Slovenian
1057	Byelorussian	1297	Kazakh	1507	Samoan
1059	Bulgarian	1298	Greenlandic	1508	Shona
1060	Bihari	1299	Cambodian	1509	Somali
1061	Bislama	1300	Kannada	1511	Albanian
1066	Bengali; Bangla	1301	Korean	1512	Serbian
1067	Tibetan	1305	Kashmiri	1513	Siswati
1070	Breton	1307	Kurdish	1514	Sesotho
1079	Catalan	1311	Kirghiz	1515	Sundanese
1093	Corsican	1313	Latin	1516	Swedish
1097	Czech	1326	Lingala	1517	Swahili
1103	Welsh	1327	Laothian	1521	Tamil
1105	Danish	1332	Lithuanian	1525	Telugu
1109	German	1334	Latvian; Lettish	1527	Tajik
1130	Bhutani	1345	Malagasy	1528	Thai
1142	Greek	1347	Maori	1529	Tigrinya
1144	English	1349	Macedonian	1531	Turkmen
1145	Esperanto	1350	Malayalam	1532	Tagalog
1149	Spanish	1352	Mongolian	1534	Setswana
1150	Estonian	1353	Moldavian	1535	Tonga
1151	Basque	1356	Marathi	1538	Turkish
1157	Persian	1357	Malay	1539	Tsonga
1165	Finnish	1358	Maltese	1540	Tatar
1166	Fiji	1363	Burmese	1543	Twi
1171	Faroese	1365	Nauru	1557	Ukrainian
1174	French	1369	Nepali	1564	Urdu
1181	Frisian	1376	Dutch	1572	Uzbek
1183	Irish	1379	Norwegian	1581	Vietnamese
1186	Scots Gaelic	1393	Occitan	1587	Volapük
1194	Galician	1403	(Afan) Oromo	1613	Wolof
1196	Guarani	1408	Oriya	1632	Xhosa
1203	Gujarati	1417	Punjabi	1665	Yoruba
1209	Hausa	1428	Polish	1684	Chinese
1217	Hindi	1435	Pashto; Pushto	1697	Zulu
1226	Croatian	1436	Portuguese	1703	無指定
1229	Hungarian	1463	Quechua		
1233	Armenian	1481	Rhaeto-Romance		
1235	Interlingua	1482	Kirundi		
1239	Interlingue	1483	Romanian		

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面



1 I/⏻ 電源ボタン/STANDBY（スタンバイ）ランプ（25、42）

2 表示窓（114）

3 ⏏（ディスクトレイ開閉）ボタン（30、42）

4 リモコン受光部（14）

5 サウンドフィールド状態表示ランプ（45）

6 VOLUME（ボリューム）（音量）+/−ボタン（31、42、84）

7 FUNCTION（ファンクション）（ファンクション）ボタン（42、44、48）

8 ■（停止）ボタン（25、30、42）

9 ►（再生）ボタン（30、42）

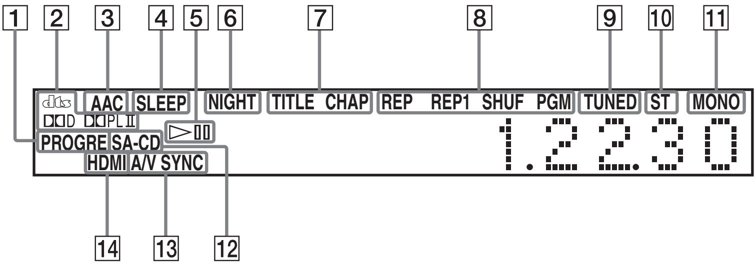
10 ディスクトレイ（30、42）

その他

次のページへつづく

本体の表示窓

本体表示窓のインジケータについて



1 プログレッシブ信号が出力されているときに点灯（93）

2 現在の音声の状態

3 AAC音声認識時に点灯（90）

4 スリープモードのときに点灯（91）

5 再生状態（DVDファンクションのみ）

6 ナイトモードのときに点灯（89）

7 本体の表示窓にタイトルまたはチャプターの時間情報が表示されているときのみ点灯（DVDのみ）

8 プログラム再生、シャッフル再生、リピート再生時に点灯（57、59、60）

9 放送局を選局したときに点灯（83）

10 ステレオ放送を受信しているときに点灯（83）

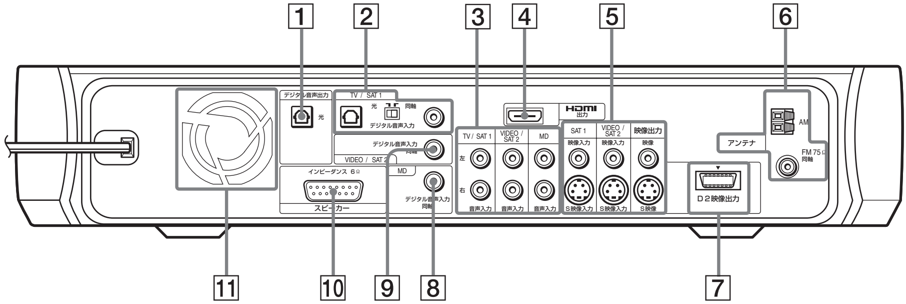
11 モノラルでラジオを聞いているときに点灯（84）

12 現在のディスクの種類

13 アンプメニューで「AV/SYNC」が「SYNC ON」に設定されているときに点灯（スーパーオーディオCDとラジオを除く）（73）

14 HDMI 出力端子がHDMIまたはDVI端子を持ったHDCP対応の機器につながれているときに点灯（23）

本体後面



1 デジタル音声出力（光）端子 (39)

2 TV/SAT 1デジタル音声入力（光/同軸）端子 (32、36)

3 TV/SAT 1、VIDEO/SAT 2、MD音声入力（右/左）端子(32、34、36、38)

4 HDMI出力端子 (23)

5 SAT 1映像入力（映像/S映像）端子、VIDEO/SAT 2映像入力（映像/S映像）端子、映像出力（映像/S映像）端子 (23、34、36)

6 アンテナ（AM/FM 75 Ω同軸）(20)

7 D2映像出力端子 (23)

8 MDデジタル音声入力（同軸）端子 (38)

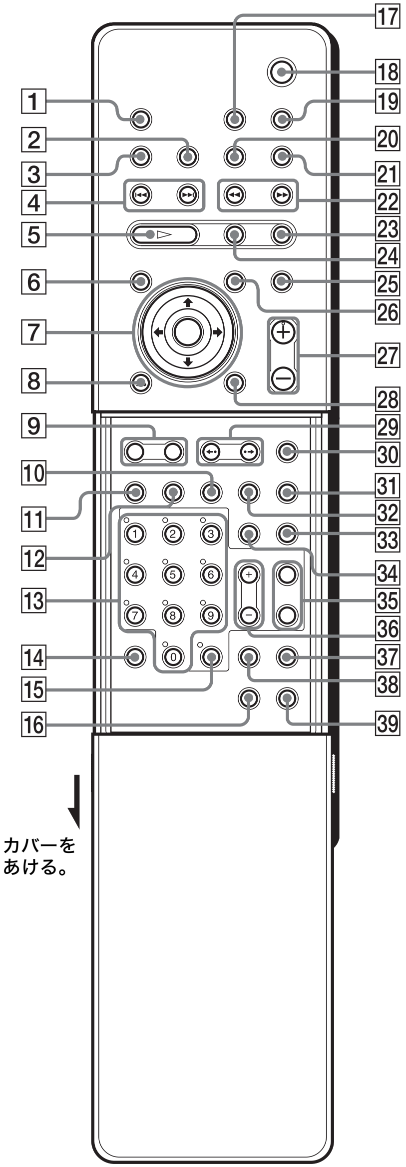
9 VIDEO/SAT 2デジタル音声入力（同軸）端子 (34)

10 スピーカー出力端子(17)

11 通気孔

次のページへつづく

リモコン



1 **テレビボタン（86、87）**

2 **スリープボタン（91）**

3 **サウンドフィールドボタン（45）**

4 **⏮/⏭ プリセット＋/－、チャンネル＋/－ボタン（26、42、76、83、86、87）**

5 **▷（再生）ボタン（30、42、52、56、57、59、76、79）**
▷ボタンには突起が付いています。*

6 **トップメニューボタン（61）**

7 **←/↑/↓/→/決定ボタン（中央のボタン）（26、30、45、53、55、57、59、60、61、63、68、73、76、79、82、83、86、89、90、92、94）**
←/↑/↓/→/ボタンには突起が付いています。*

8 **⤺ リターンボタン（76）**

9 **アルバム＋/－ボタン（42、87）**

10 **アングルボタン（67、87）**

11 **音声ボタン（62、87）**
音声ボタンには突起が付いています。*

12 **字幕ボタン（68、87）**

13 **数字ボタン（53、61、68、82、86、87）**
数字の5のボタンには突起が付いています。*

14 **クリアボタン（53、76、83、87）**

15 **決定ボタン**

16 **プログレッシブ、チューナーメニューボタン（83、93）**

17 **テレビ電源ボタン（86）**

18 **電源ボタン（25、26、42）**

19 **シアターシンクボタン（87）**

20 **テレビ/ビデオボタン（86、87）**

21 **ファンクションボタン（26、42、44、45、48、83、89、90、93）**

22 **◀◀/▶▶スキャン、◀I/I▶ スロー、選局＋/－ボタン（52、83）**

23 **■（停止）ボタン（25、30、42、56、76）**

24 **II （一時停止）ボタン（42）**

25 **消音ボタン（42）**

26 **メニューボタン（61、76、79）**

27 音量、テレビ音量+/−ボタン（31、42、83、86）

音量、テレビ音量+ボタンには突起が付いています。*

28 ⌨ 画面表示ボタン（49、53、55、57、59、60、63、64、79、68、94）

29 ←•/◄II/•→/II► ステップ、フラッシュボタン（42、52）

30 本体表示ボタン（64）

31 ウーファーボタン（87、89）

32 ピクチャーナビボタン（55、76、87）

33 くり返しボタン（60）

34 FMモードボタン（84）

35 チャンネル+/−ボタン（86）

36 テレビ音量+/−ボタン（86）

37 ナイトモードボタン（89）

38 SA-CD/CDボタン（74）

39 アンプメニューボタン（40、45、73、89、90、92）

* 突起は本機を操作するときの参考にしてください。

設定画面項目一覧表

設定画面で以下の項目を設定することができます。
表示される画面の順番は、実際の画面と異なる場合があります。
お買い上げ時の設定は下線の項目です。

言語設定

- 画面表示言語
  - 日本語
  - ENGLISH
- メニュー言語
  - 表示される言語の一覧から選びます
- 音声言語
  - 表示される言語の一覧から選びます
- 字幕言語
  - 表示される言語の一覧から選びます

視聴設定

- 一時停止モード
  - 自動
  - フレーム
- 音声トラック自動設定モード
  - 切
  - 入
- つづき再生機能
  - 入
  - 切
- HDMI音声
  - 切
  - 自動
  - PCM

画面設定

- TVタイプ
  - 16:9
  - 4:3レターボックス
  - 4:3パンスキャン
- HDMI解像度
  - 自動
  - 1920x1080i
  - 1280x720p
  - 720x480p
  - 720x480i
- スクリーンセーバー
  - 入
  - 切
- 背景画面
  - ジャケットピクチャー
  - グラフィックス
  - 青
  - 黒
- 4:3出力
  - フル
  - ノーマル

スピーカー設定

- レベル調整：サブウーファー
  - 0.0dB
  - サブウーファーのレベルを-6.0dBから +6.0dBの間で調整します。設定ステップは1.0dBごとです。

アンプメニュー項目一覧表

リモコンで以下のアンプメニュー項目を設定することができます。
お買い上げ時の設定は下線の項目です。

アンプメニュー

- AUDIO DRC (89 ページ)
  - DRC OFF
  - DRC STD
  - DRC MAX
- DUAL MONO (90 ページ)
  - MAIN
  - SUB
  - MAIN+SUB
  - MAIN/SUB
- A/V SYNC (73 ページ)
  - SYNC OFF
  - SYNC ON
- DIMMER (92 ページ)
  - DIMMER OFF
  - DIMMER ON
- SET TV
  - SET TV
  - SET SAT1
- SET SAT1 (40 ページ)
  - SET TV
  - SET SAT1
- SET VIDEO
  - SET VIDEO
  - SET SAT2
- SET SAT2 (40 ページ)
  - SET VIDEO
  - SET SAT2
- AUTO MODE (46 ページ)
  - FOCUS SURR
  - WIDE SURR
- NIGHT MODE (89 ページ)
  - NIGHT OFF
  - NIGHT ON

索引